令和8年度

西条第二地区地区計画整備事業

地区計画道路23号線道路改良工事

仕様書

施　工　場　所　　東広島市西条町寺家

東広島市

位置図


225
329.1
稲荷
青谷
224
西条
安芸国分寺跡
寺家
後谷
216.8
西条東北町
西条本町
西条駅
西条岡町
西条西本町
中央公民館
224
下寺家
前谷
213
西条栄町
西条朝日町
西条上市町
西条土与丸
西条東
西条昭和町
西条大坪町
212
221
西条中央（二）
下助実
236
黒瀬川
西条中央（一）
西条御条町
安出河
220
西条下見
西条中央（八）
西条中央（三）
西条町


西条町寺家
黒瀬川
ベクド一橋
ふれあい保育園西条

特　記　仕　様　書

（地区計画道路23号線道路改良工事）

第1章　総則

1.　適用
2.　前払金
3.　現場代理人の兼務
4.　履行報告
5.　官公庁等への手続き等
6.　工事中情報共有システム（受注者希望型）
7.　主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について
8.　法定外の労災保険の付保
9.　週休２日適用工事等　週休２日
10.　建設副産物の取り扱いについて

第2章　工事材料

1.　見本・品質証明資料
2.　品質規格証明資料等
3.　溶融スラグを利用した資材の使用

第3章　施工条件

1.　安全対策
　(1) 交通安全施設
　(2) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
　(3) 架空線の防護管に要する費用について
2.　盛土・埋戻土
　(1) 流用土(工事内流用)
3.　建設副産物
　(1) 建設発生土（建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地への搬出）
　(2) コンクリート殻（有筋）(搬出)
　(3) コンクリート殻（無筋）(搬出)
　(4) アスファルト殻(搬出)

第4章　施工管理

1.　出来形管理
　(1) 表層工及び道路面に天端が接する構造物

第5章　その他

1.　工事関係書類
2.　工事写真
3.　疑義の解決等

特　記　仕　様　書

第1章　総則

1.　適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和８年８月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）」及び東広島市制定の第15編下水道編(最新版)に基づいて実施しなければならない。

この場合においては、次のとおりとする。

(1)　「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替える。(ただし、第1編第1章第1節1-1-1-27第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。)

(2)　「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。

(3)　「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。

(4)　「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。

(5)　「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。

(6)　「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。

(7)　「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」」と読み替える。

(8)　「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。

(9)　「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。

(10) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と「建設業者等指名除外要綱別表第18号」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱別表第22号」と読み替える。

(11)　「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。

(12)　「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。

(13) その他

編	章	節	条	見　出　し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から[7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	6	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2.　前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにあっては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

・建設工事請負代金前金払実施要領
・建設工事請負代金中間前金払実施要領
・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3. 現場代理人の兼務

1 現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

2 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。

3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。

⑴ 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
⑵ 兼務を承認した日から起算して14日(東広島市の休日を定める条例(平成元年東広島市条例第６号)第１条第１項に規定する市の休日を除く。)を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
⑶ 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
⑷ 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
⑸ 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
⑹ その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき

4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。

※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあっては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあっては平成17年2月7日前の町の区域とする。

4. 履行報告

履行報告の提出にあたっては、実施工程表と平面図（施工済み箇所を着色）又は、進捗状況が確認できる写真を添付すること。なお、月締め報告とし、翌月７日までに提出すること。

5. 官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面(写し)を提出するものとし、更新手続き(許可内容が同じもの)の場合は、届出等の鑑のみとする。

6. 工事中情報共有システム（受注者希望型）

（１）本工事は、工事中情報共有システムの対象（受注者希望型）である。
（２）工事中情報共有システムを利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。
（３）本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。
広島県工事中情報共有システム（一般社団法人　広島県土木協会）
http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html
（４）工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。
（５）利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領」に基づくこと。
（６）運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。
この場合においては、次のとおりとする。
１）「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規程（広島県）」および「土木工事監督実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規程（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と、「土木工事検査技術基準（広

島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。
2）「CAD製図基準（国土交通省）」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。
3）「4.検査」は適用しない。
4）検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。
5）受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

7. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

東広島市発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

8. 法定外の労災保険の付保

1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
2 受注者は、建設工事請負契約約款第４７条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
3 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

9. 週休２日適用工事等 週休２日

本工事は、週休２日適用工事（発注者指定型）であり、「東広島市週休２日適用工事等実施要領（最新版）」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要のある様式「休日取得計画表」は「検査課HP＞施工関連資料＞週休２日適用工事等の実施について」に掲載している。

10. 建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（５の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、１の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から５年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計

画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5　建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m3以上の工事を対象とする。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第３条第７項又は第４条第１項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第１項、第16条第１項、第30条第１項又は第35条第１項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第１項、第27条第１項、第28条第１項又は第40条第１項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6　運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7　確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8　確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後５年間保存するものとする。

9　建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

(1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地

(2) 建設発生土の搬出先の受注者の商号、名称又は氏名

(3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地

(4) 建設発生土の搬出量

(5) 建設発生土の搬出が完了した日

10　建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11　受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12　受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後５年間保存するものとする。

13　建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する９（1）～（5）に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後５年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

(1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
(2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
(3) ストックヤード運営事業者登録規定により国に登録されたストックヤード
(4) ９の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

第2章　工事材料

1.　見本・品質証明資料

受注者は、次に示す材料又は監督職員が指示する材料について、見本又は品質を証明する資料を、材料を使用するまでに監督職員に提出するものとする。また、材料の購入は監督職員の確認を受けた後に行うものとする。

区　分	材　料　名	摘　要
鋼材	異形棒鋼	
セメント及び混和材		
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	ＪＩＳ製品以外
その他	レディーミクストコンクリート	
	アスファルト混合物	事前審査制度の認定混合物を除く

2.　品質規格証明資料等

受注者は、工事に使用した次に示す材料又は監督職員が指示する材料の品質を証明する試験成績表、性能試験結果、ミルシート等の品質規格証明書を監督職員に提出するものとする。

区　分	材　料　名	摘　要
鋼材	異形棒鋼	
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	ＪＩＳ製品以外
その他	レディーミクストコンクリート	
	アスファルト混合物	事前審査制度の認定混合物を除く

3.　溶融スラグを利用した資材の使用

1.　溶融スラグを利用した資材の使用

再生加熱アスファルト混合物、プレキャストコンクリート製品、再生路盤材及び埋戻材等については、広島中央環境衛生組合が製造する溶融スラグ（以下「溶融スラグ」という。）を利用した資材を使用するよう努めるものとする。溶融スラグ利用及び使用する資材にあたっては「溶融スラグの有効利用促進等に関する方針」「溶融スラグ有効利用ガイドライン【品質編】、【運用編】」に準拠するものとする。なお、これにより難い場合は、監督職員と協議すること。

2.　品質管理及び確認

1.で示したもののほか、溶融スラグを利用した資材の使用における品質の管理及び確認は、広島版「土木工事共通仕様書(令和８年８月)」及び広島版「施工管理基準(令和８年８月)」によるものとする。ただし、書類により品質が確保できる項目においても、監督職員が必要と認めるものは現場検収を実施できるものとする。

3.　再生加熱アスファルト混合物への使用

溶融スラグを再生加熱アスファルト混合物に使用する場合、広島版「土木工事共通仕様書（令和８年８月）」の「1-1-2-16　環境対策」に示す登録リサイクル製品の使用は適用しないものとする。

4.　適合規格

溶融スラグの適合規格については、広島版「土木工事共通仕様書(令和８年８月)」に記載の適合規格（「2-2-3-1 一般事項　1.」）ではなく、「JIS A 5031　一般廃棄物，下水汚泥又はそれらの焼却灰を溶融固化したコンクリート用溶融スラグ骨材」を適用するものとする。

第3章　施工条件

1.　安全対策

(1) 交通安全施設

内容　　本工事箇所は小学校の通学路となっているため、交通安全施設等の配置により安全対策には十分注意すること

期間　　工事期間中

(2) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員　・交通誘導警備員の配置人数は、工事着手後、規制を要する日から9日間(2人／日)を見込んでいる。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の人数変更が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

(3) 架空線の防護管に要する費用について

工事区域上空の架空線の防護管に要する費用については、現在見込んでいない。

架空線に近接した工事の施工に当たって、架空線管理者又は防護管施工会社（以下、「架空線管理者等」という）との協議により、架空線管理者等から防護管に要する費用負担を求められた場合、工事打合せ簿により監督職員と協議し、設計変更の対象とする。

設計変更の対象として認められる場合は、架空線管理者等からの見積書を提出すること。

2. 盛土・埋戻土

(1) 流用土(工事内流用)

本工事の施工により発生する土のうち、　50m3(地山土量)　については当該工事の施工に流用するものと見込んでいる。

3. 建設副産物

(1) 建設発生土（建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地への搬出）

当該工事により発生する建設発生土は、広島県制定の建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地に搬出するものとする。

また、積算上の搬出先として、建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる次の施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、広島県制定の建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。

ただし、災害復旧工事において、市が公募により決定した「災害発生土民間受入先」と受入について土質や搬出スケジュール等の協議が整えば、搬出先を「災害発生土民間受入先」に変更する場合がある。

当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離

（名称）　株式会社不動開発阿戸土砂埋立処分場
（所在地）　広島市安芸区阿戸町字茶屋垣内地内
（運搬距離）　11.8ｋｍ

(2) コンクリート殻（有筋）(搬出)

当該工事により発生するコンクリート殻（有筋）は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は　10.2ｋｍ　を見込んでいる。

(3) コンクリート殻（無筋）(搬出)

当該工事により発生するコンクリート殻（無筋）は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は　9.4ｋｍ　を見込んでいる。

(4) アスファルト殻(搬出)

当該工事により発生するアスファルト殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は　9.4ｋｍ　を見込んでいる。

第4章　施工管理

1. 出来形管理

(1) 表層工及び道路面に天端が接する構造物

本工事において、路面に天端が接する構造物の出来高管理は下記のとおり行うこと。

なお、下記以外の項目については、広島県制定「土木工事施工管理基準(令和８年８月)」に基づいて実施しなければならない。

工　種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘　要
道路面に天端が接する構造物(コンクリートブロック工、コンクリート擁壁工、側溝工等)	基準高さ▽	±30	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。		

第5章　その他

1.　工事関係書類

⑴ 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領 -土木工事編-によるものとする。

⑵ 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2.　工事写真

工事写真の撮影に当っては、広島県制定「写真管理基準（令和８年８月）」によるものとし、納品に当っては、電子媒体又は紙媒体、情報共有システム登録のいずれかとする。

なお、電子納品物は「広島県電子納品実施要領」に準拠し、作成すること。

3.　疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

特記仕様書（中東情勢の変化による建設資材の流通状況を踏まえた設計変更について）

１　本工事は、供給の偏りや流通の目詰まりにより入手が困難となっているナフサを由来とする建設資材（以下、「調達検討資材」という）の調達に必要となる経費（以下、「別途調達経費」という）について、設計変更により計上できる工事である。

２　調達検討資材

ナフサを由来とする主要な建設資材の一覧

資材カテゴリ	主成分・性質
ジオテキスタイル	ＰＰ、ＰＥＴ
防草シート	ＰＰ、ＰＥＴ
排水材・フィルター	ＰＰ、ＰＥＴ
パイプ・配線管	塩ビ、ＰＥ、ＰＰ
ケーブル・配線管	塩ビ、ＰＥ
接着剤	ポリウレタン、エポキシ樹脂
塗料・シンナー	トルエン・キシレン等
止水材・シーリング材	ポリウレタン、アクリル
防水シート（トンネル）	塩ビ、合成ゴム
コンクリート混和材	ポリカルボン酸エーテル
仮設資材（ブルーシート、土のう）	ＰＥ、ＰＰ、ＰＶＣ
断熱材	ポリウレタン、ポリスチレン

※代表的なナフサ由来の資材の一例であり、この一覧にない場合でも協議することができる。
ただし、ナフサ由来の資材であることを確認すること。

３　内容

（１）　受注者は、調達検討資材について、別途調達経費が必要となる場合には、事前に「(様式１) 調達検討資材に関する協議書」を提出し、監督職員と協議するものとする。ただし、調達検討資材を直ちに購入契約する必要がある等、迅速な対応が求められる場合には、口頭、電子メールなどで協議することも可能とするが、事後、遅滞なく書面により協議するものとする。

なお、別途調達経費が必要となる場合とは、次のとおり想定している。

①　調達検討資材の代替資材を調達した場合
（例：塩化ビニル管を鉄管やコンクリート管に変更して施工する場合）

②　調達検討資材の流通経路を見直して調達した場合
（例：通常より遠方から調達する必要があり、運搬費が追加で必要な場合）

③　調達検討資材を調達した場合（ただし別途調達経費を含む）
（例：通常より調達ロットを小さくせざるを得なくなり、単価が高くなる場合）

（２）　受注者は、設計変更に際し、「(様式２）調達検討資材に関する実施報告書」及び実際の取引伝票、請求書等（調達時期、購入数量、購入単価が記載された資料）を監督職員に提出すること。

（３）　妥当性が確認された別途調達経費については、設計変更の対象とする。ただし、受注者の責めに帰すべき事由により生じた増加費用については、設計変更の対象としない。

（４）　受注者は、代替資材を調達する場合には、当該代替資材が設計図書で求める機能や品質等を満足していることが確認できる資料（カタログ等）を作成し、監督職員に提出しなければならない。

※ 様式については、契約課ホームページに掲載

4　積算方法

（1）　設計変更は、精算変更時（指定部分がある場合には、その指定部分の精算変更時）に行うことを基本とする。

（2）　設計変更を行う対象数量の考え方は、次のとおりとする。

既済部分について出来高部分払いを行っている場合は、当該既済部分払いの対象となった出来高部分に係る数量を除いた数量を設計数量とする。

証明された数量と対象数量の考え方
証明数量＜設計図書の数量 → 設計変更不可。 設計図書の数量≦証明数量≦設計数量 → 設計変更可。対象数量は証明数量 設計数量＜証明数量 → 設計変更可。対象数量は設計数量 （設計図書の数量：設計図書（数量総括表や図面等）に記載されている数量 設計数量：設計図書の数量にロスを加えた数量（積算上の数量） 証明数量：受注者から証明された数量）

※精算変更見込み数量を考慮すること。

換算値などを用いて明示した調達数量については、受発注者間で合意した換算値等や実際の使用量などを基に、受発注者間で協議して最終的な設計数量を決定すること。

（3）　設計変更に用いる単価は、実際の取引伝票、請求書等で確認出来た実際の購入価格とする。

（4）　別途調達経費は、直接工事費に計上するものとする。

材料費が個別に設定されている場合は、実際の購入価格に入れ替えて設計変更を行うこと。土木工事標準単価など材料費が分離できない場合は、調達検討資材の当初積算時点での実勢価格（物価資料等）と実際の購入価格の差分を計上して設計変更を行うこと。なお、当初積算時点の実勢価格（物価資料等）が掲載されていない場合は、受注者に当初積算時点の取引価格を確認の上、差分を算出すること。

（5）　本運用に基づく設計変更内容は、建設工事請負契約約款第 25 条（スライド条項）の対象外とする。

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
道路改良		式		1	レベル1
道路土工		式		1	レベル2
掘削工		式		1	レベル3
掘削	表土	m3		7	レベル4
残土処理工		式		1	レベル3
土砂等運搬	粘性土	式		1	レベル4
残土等処分		m3		20	レベル4
排水構造物工		式		1	レベル2
作業土工		式		1	レベル3
床掘り		式		1	レベル4
埋戻し		式		1	レベル4
側溝工		式		1	レベル3
自由勾配側溝	300×1000　土留	m		30	レベル4
自由勾配側溝	300×400	m		31	レベル4
側溝蓋	ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋	枚		44	レベル4
側溝蓋	グレーチング　細目　L=500	枚		15	レベル4
管渠工		式		1	レベル3

工事数量総括表

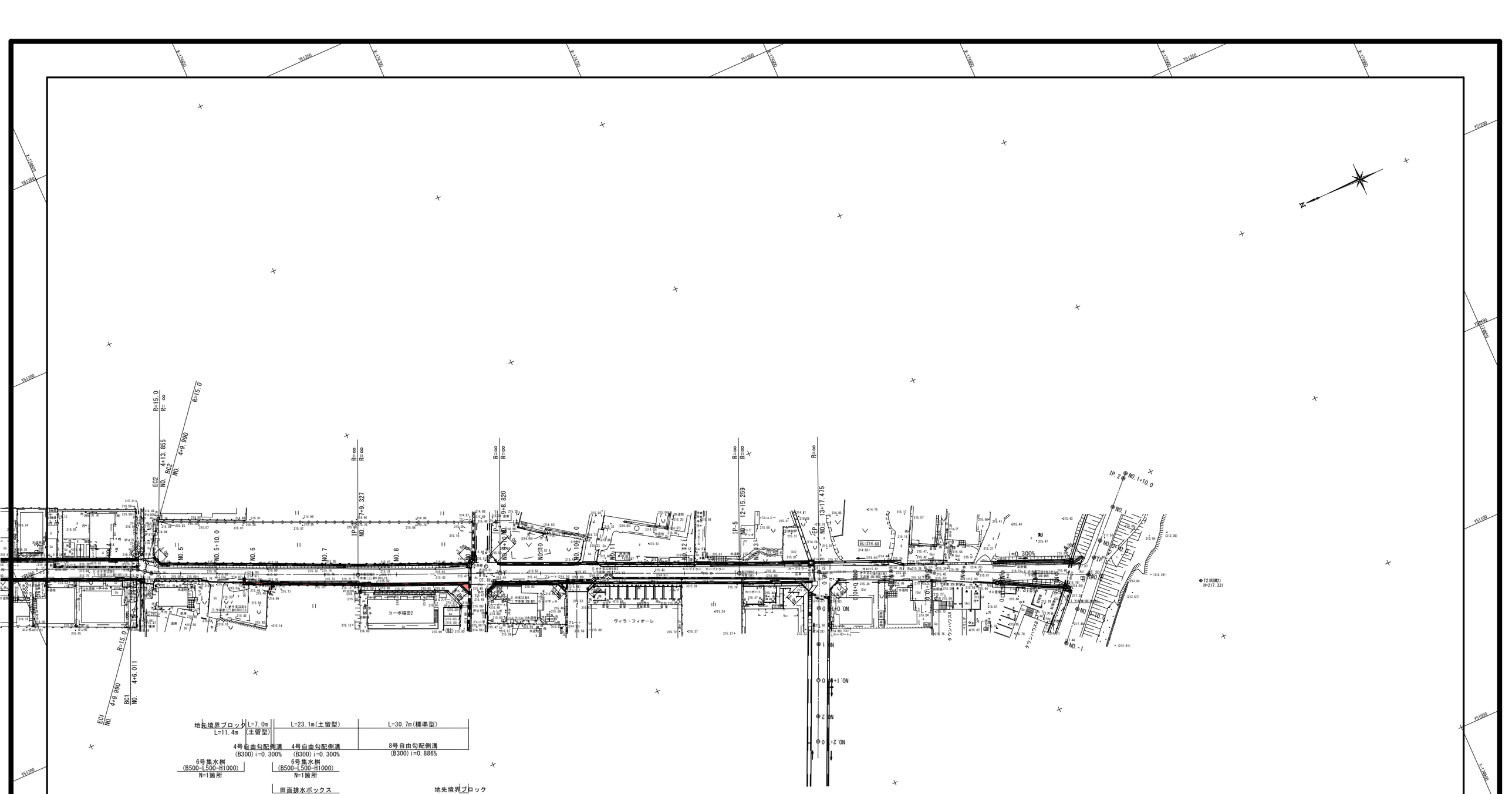
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
暗渠排水管	VPΦ100	m		2	レベル4
集水桝・マンホール工		式		1	レベル3
現場打ち集水桝	6号集水桝	箇所		2	レベル4
現場打ち集水桝	田面排水ﾎﾞｯｸｽ	箇所		1	レベル4
構造物撤去工		式		1	レベル2
構造物取壊し工		式		1	レベル3
コンクリート構造物取壊し	無筋	m3		7	レベル4
コンクリート構造物取壊し	鉄筋	m3		0.1	レベル4
舗装版切断		式		1	レベル4
舗装版破砕		m2		45	レベル4
運搬処理工		式		1	レベル3
殻運搬	コン殻 無筋	m3		7	レベル4
殻運搬	コン殻 有筋	m3		0.1	レベル4
殻運搬	アス殻	m3		2	レベル4
殻処分	コン殻（無筋）	t		16	レベル4
殻処分	コン殻（有筋）	t		0.2	レベル4
殻処分	アス殻	t		5	レベル4
仮設工		式		1	レベル2

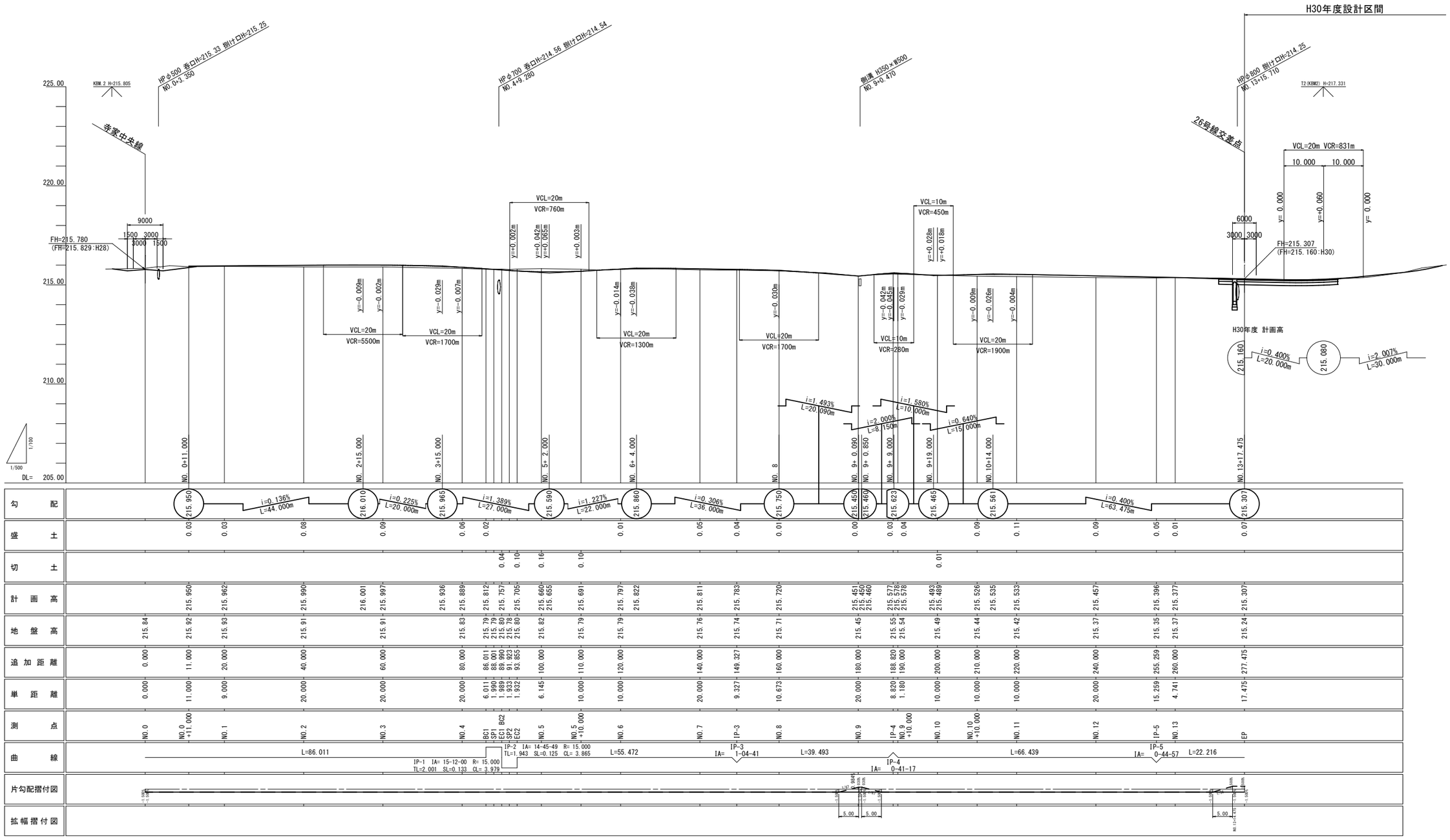
工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		人		18	レベル4
舗装		式		1	レベル1
舗装工		式		1	レベル2
アスファルト舗装工		式		1	レベル3
下層路盤(車道・路肩部)	RC-30 t=100	m2		46	レベル4
上層路盤(車道・路肩部)	RM-30 t=100	m2		37	レベル4
表層(車道・路肩部)	t=5cm 再生密粒度As	m2		46	レベル4
コンクリート舗装工		式		1	レベル3
張コンクリート	t=10cm	m2		0.2	レベル4
縁石工		式		1	レベル2
作業土工		式		1	レベル3
床掘り		式		1	レベル4
埋戻し		式		1	レベル4
縁石工		式		1	レベル3
地先境界ブロック	C種(150×150×600)	m		14	レベル4
＊＊直接工事費＊＊					
共通仮設費率分					

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費					
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊					
＊＊工事費計＊＊					
＊＊契約保証費計＊＊					


R=15.0
R=∞
R=15.0
EC2
NO. 4+13.855
BC2
NO. 4+9.990
R=∞
R=∞
IP-7 R=9.327
NO. 7+9.327
R=∞
R=∞
IP-8 R=9.820
NO. 8+9.820
NO.5
NO.5+10.0
NO.6
NO.7
NO.8
NO.9
NO.10
NO.11
NO.12
NO.13
NO.14
NO.15
NO.16
NO.17
NO.18
NO.19
NO.20
IP-5 R=12.259
NO. 12+15.259
IP-6 R=17.475
NO. 13+17.475
IP-4 R=15.0
IP-3 R=15.0
IP-2 R=15.0
IP-1 R=15.0
R=15.0
EC1
NO. 4+9.990
BC1
NO. 4+6.011
IP.2
NO.1+10.0
NO.-1
NO.-2
NO.-3
NO.-4
NO.-5
NO.-6
NO.-7
NO.-8
NO.-9
NO.-10
NO.-11
NO.-12
NO.-13
NO.-14
NO.-15
NO.-16
NO.-17
NO.-18
NO.-19
NO.-20
i=0.300%
i=0.300%
i=0.300%



※1 H30年度設計区間は、基準点標高が合わないため+0.147m補正して重ねている。
H=217.331(T2:本業務)-217.184(T-2:H30年度)=+0.147m

※1 寺家中央線(H28年度)は、基準点標高が合わないため-0.049m補正して重ねている。
H=215.805(KBM2:本業務)-215.854(KBM2:H28年度)=-0.049m

２３号線(1工区)

工事名	令和８年度　西条第二地区地区計画整備事業 地区計画道路２３号線道路改良工事		
図面名	縦　断　図		
年月日	令和　７年　７月		
縮　尺	V=1：100 H=1：500	図面番号	2
路線名	地区計画道路２３号線		
事業者名	東広島市　都市交通部　都市整備課　市街地整備係		

記号説明

掘　削	片　切	砂質土	C1
		不良土	C3
	オープン	砂質土	C2
	表土剥取り	粘性土	C(C)
盛　土	路　床	W＜2.5m	B1-1
		2.5m≦W＜4.0m	B1-2
		4.0m≦W	B1-3
	路　体	W＜2.5m	B2-1
		2.5m≦W＜4.0m	B2-2
		4.0m≦W	B2-3
	道路外盛土	(坂路)	B3
法面整形	ブロック積背面		SL'
法面工	防草ｺﾝｸﾘｰﾄ	t=7cm	BL
	張コンクリート	t=10cm	WCo
床　掘		砂質土	E(SF)
埋　戻		区分C	Fu(C)
		区分D	Fu(D)
埋戻コンクリート		(σck=18N/mm2)	Fu(Co)
基面整正		砂質土	K(SF)
舗　装	車道舗装	表　層	W1
		上層路盤	W2
		下層路盤	W3
取壊し工	As舗装版	t=5cm	C(As)
	Co取壊し	無筋	C(Co1)
		有筋	C(Co2)
	ブロック積取壊し		C(Br)
	石積取壊し		C(S)

埋　戻	最大埋戻幅1m以上4m未満	Fu(C)
	最大埋戻幅1m未満	Fu(D)

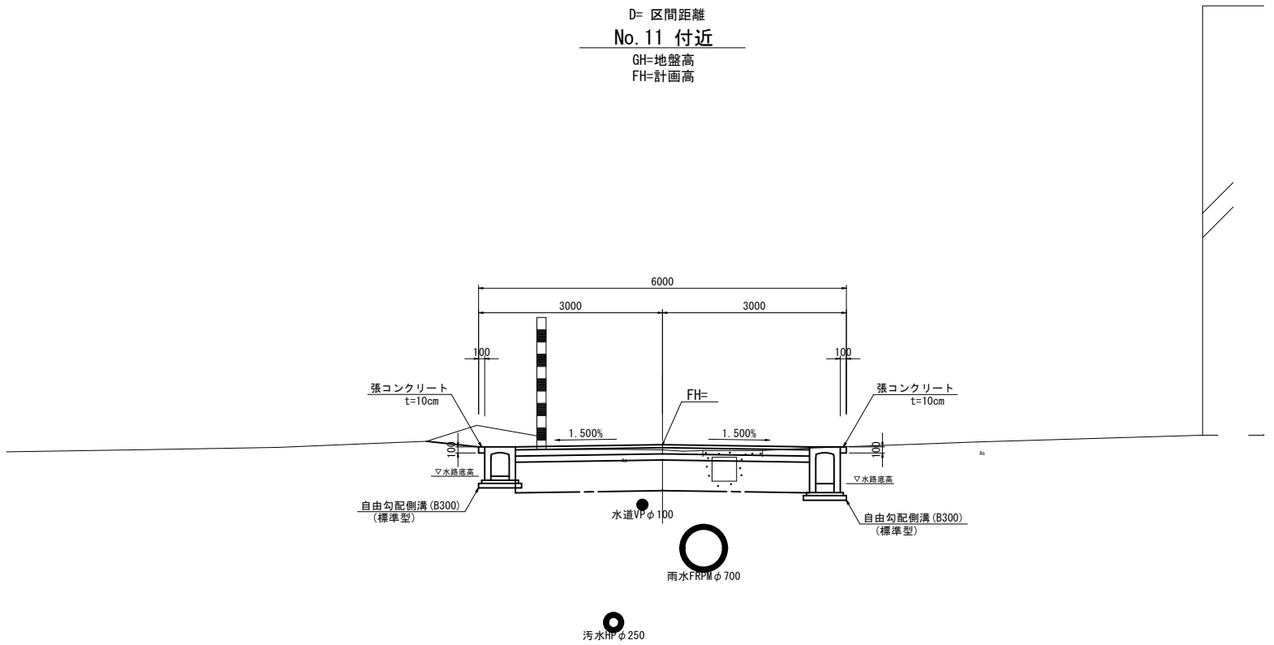
標準横断面図

S=1:50

D= 区間距離

No.11 付近

GH=地盤高
FH=計画高

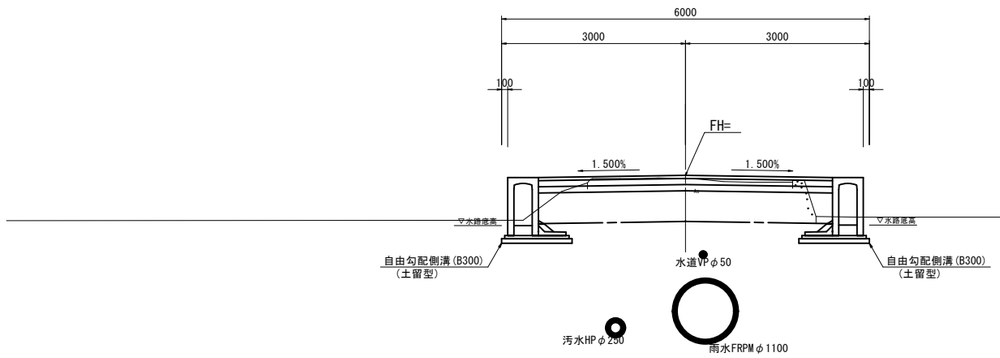


DL=210.00

D= 区間距離

No.7 付近

GH=地盤高
FH=計画高



DL=210.00

道路規格と舗装構成

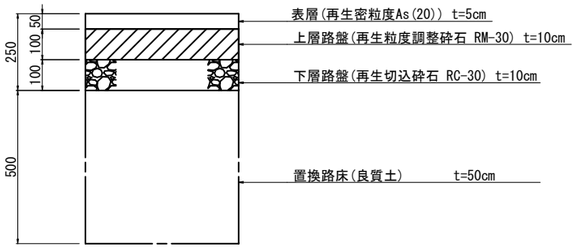
道路規格　第4種　第4級　相当			
設計速度　V = 20 km/h 相当			
舗装計画交通量　N1（15未満）（信頼度90%）			
設計 CBR　3 %以上			
目標とする値　TA = 9.0			
舗装構成	舗 装 厚	等値換算係数	TA値
表　層　工（再生密粒度As）	5 cm	1.00	5.00
上層路盤工（再生粒度調整砕石）	10 cm	0.35	3.50
下層路盤工（再生切込砕石）	10 cm	0.25	2.50
計	25 cm	9.0 ≦	11.00

※）設計CBRについて、施工時に現地確認を行うこと。
※）舗装構成について、道路事業設計要領「設計編」（平成25年6月）
舗装設計便覧（平成18年2月）参照

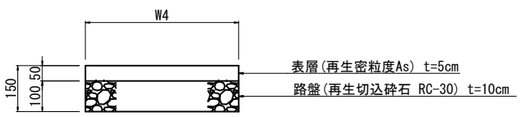
舗装構成

S=1:10

車道舗装

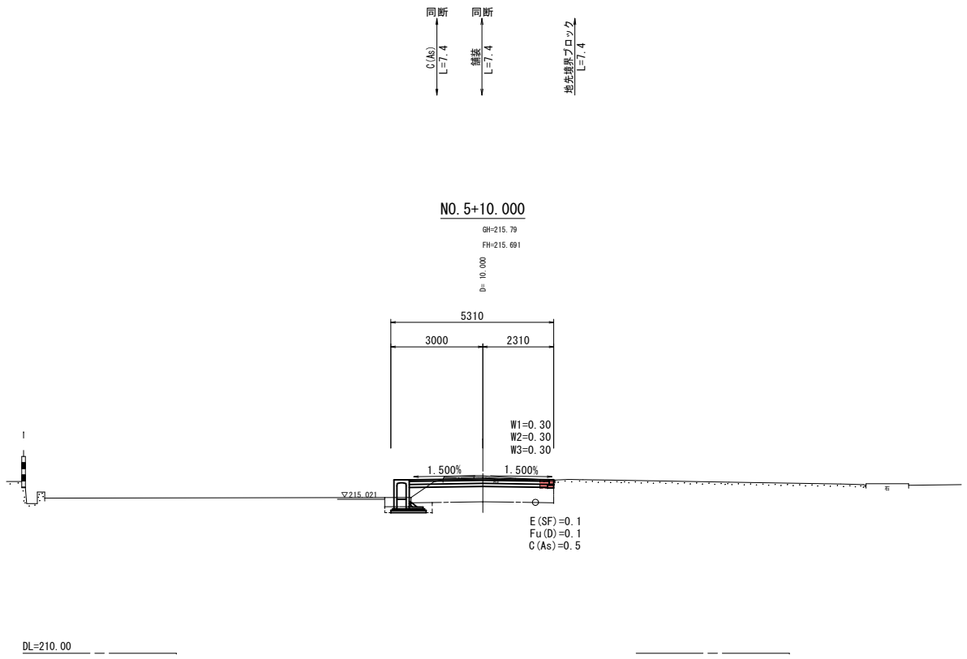


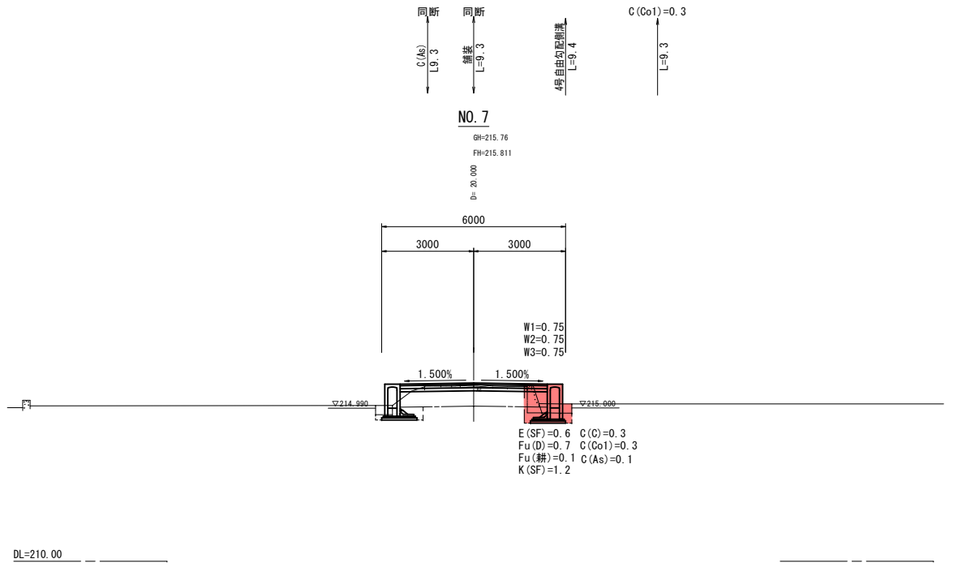
アスファルト舗装
（路肩舗装同等）

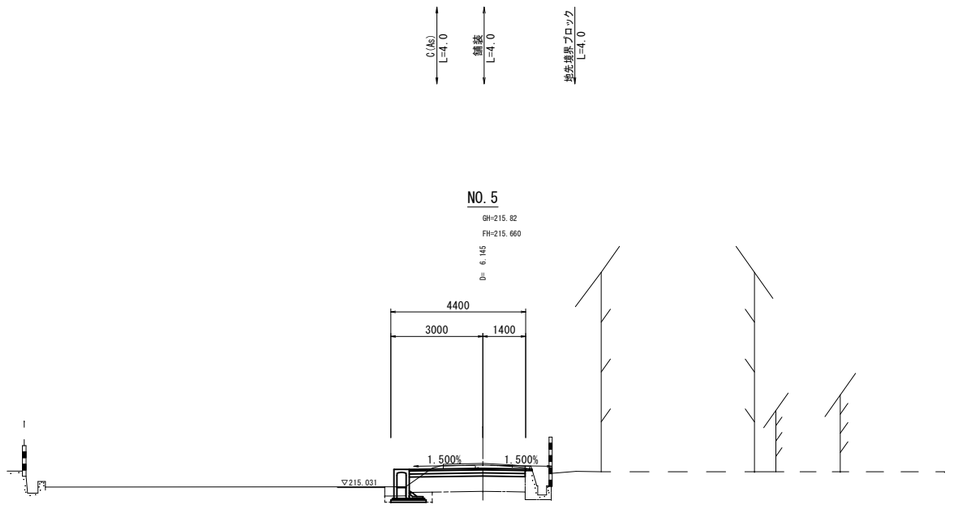


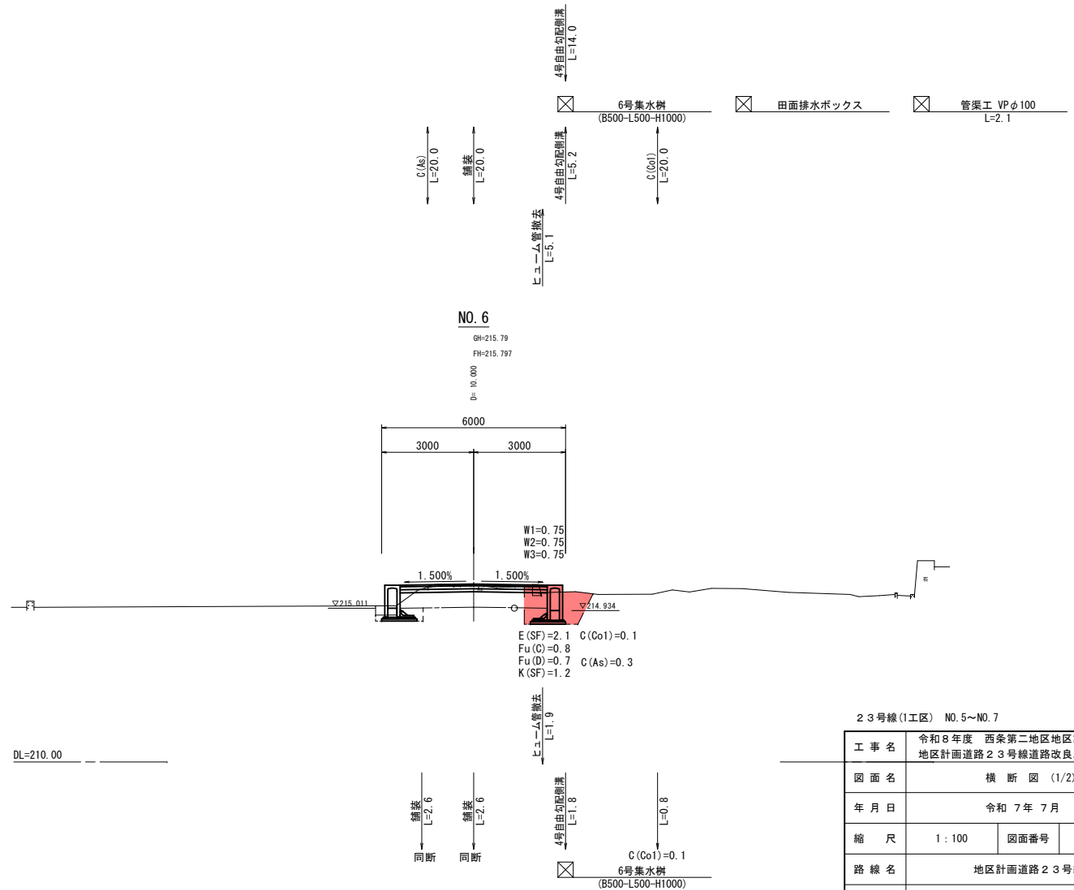
２３号線(1工区)

工 事 名	令和８年度　西条第二地区地区計画整備事業 地区計画道路２３号線道路改良工事		
図 面 名	標準横断面図		
年 月 日	令和 7年 7月		
縮　尺	図示	図面番号	3
路 線 名	地区計画道路２３号線		
事業者名	東広島市 都市交通部 都市整備課 市街地整備係		



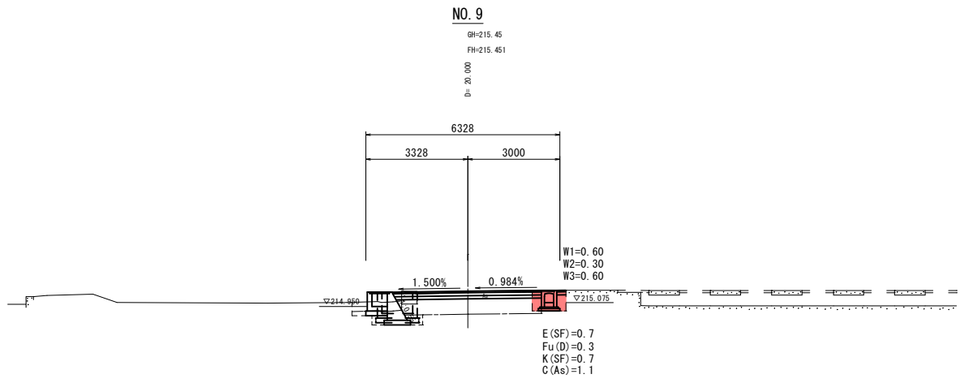


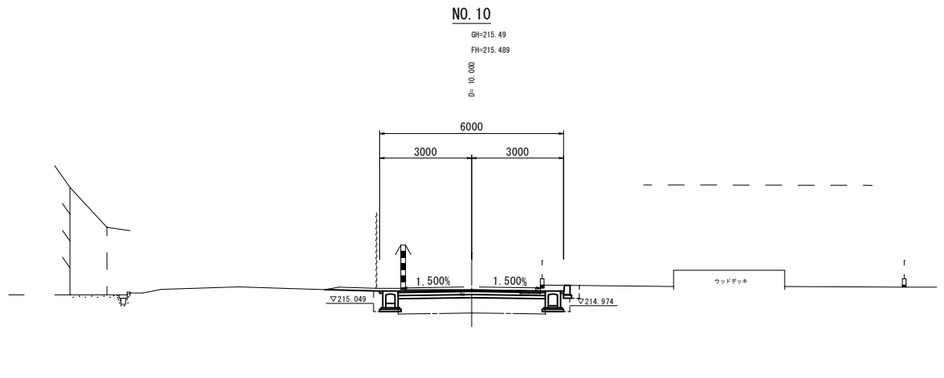


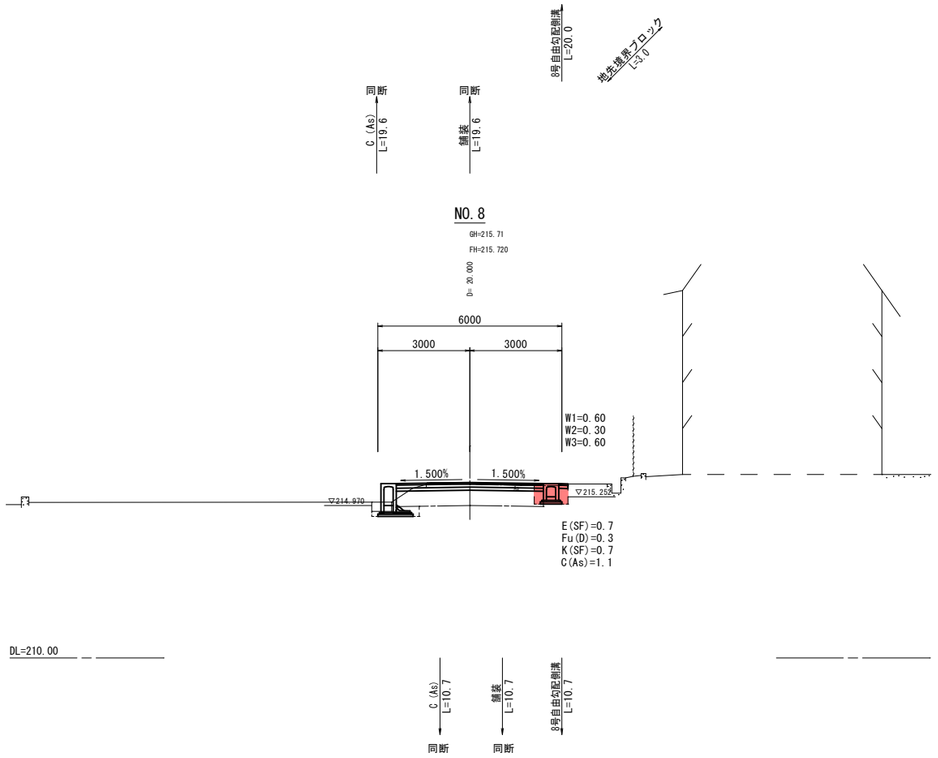


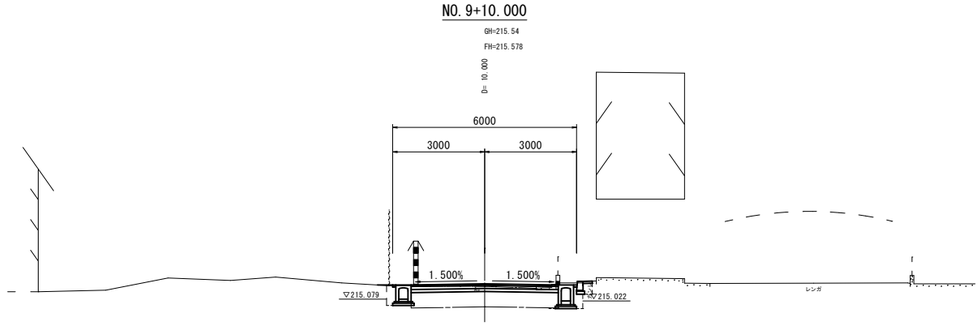
２３号線(1工区) NO.5～NO.7

工事名	令和８年度　西条第二地区地区計画整備事業 地区計画道路２３号線道路改良工事		
図面名	横　断　図　(1/2)		
年月日	令和　7年　7月		
縮　尺	1：100	図面番号	4
路線名	地区計画道路２３号線		
事業者名	東広島市　都市交通部　都市整備課　市街地整備係		





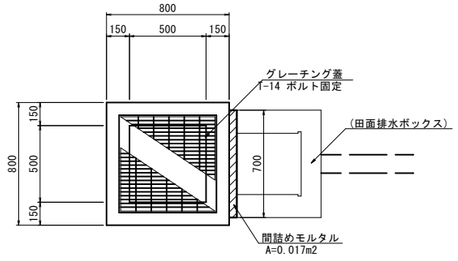


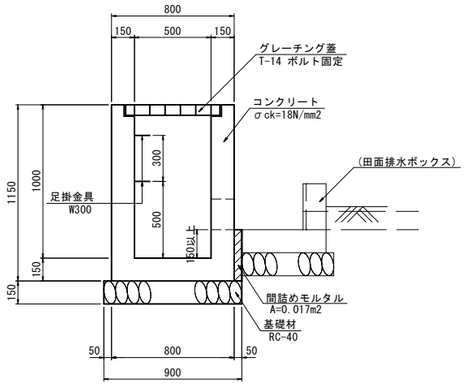


２３号線(1工区)　NO.8～NO.10

工事名	令和８年度　西条第二地区地区計画整備事業 地区計画道路２３号線道路改良工事		
図面名	横　断　図 (2/2)		
年月日	令和　７年　７月		
縮　尺	1：100	図面番号	5
路線名	地区計画道路２３号線		
事業者名	東広島市　都市交通部　都市整備課　市街地整備係		

6号集水桝 (B500-L500-H1000) S=1:20





数 量 表 箇所当り

名 称	規 格	単位	数 量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.459
型枠	一般	m2	5.980
基礎材	RC-40 t=150	m2	0.810
グレーチング蓋	T-14 ボルト固定	枚	1.000
足掛金具	W=300	本	2.000
間詰めモルタル	1:3	m3	0.012

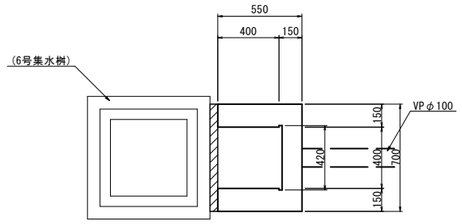
流入-流出施設表

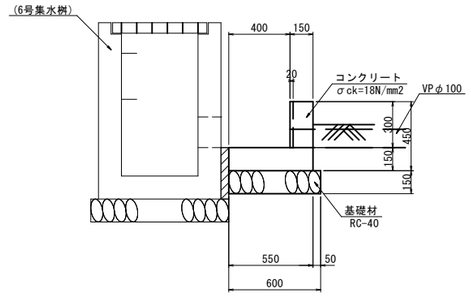
桝位置		流 入	流 出	備 考
NO.6+5.60	右側	自由勾配側溝(B300) 田面排水ボックス	自由勾配側溝(B300)	

流入-流出施設表

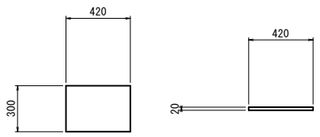
桝位置		流 入	流 出	備 考
NO.5+17.7	右側	既設(φ200) 自由勾配側溝(B300)	既設(集水桝)	

田面排水ボックス S=1:20





せき板

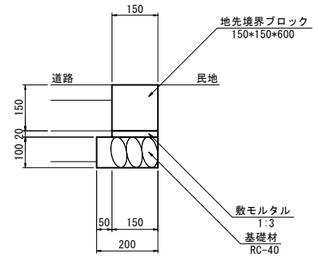


数 量 表 箇所当り

名 称	規 格	単位	数 量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.123
型枠	一般	m2	1.350
基礎材	RC-40 t=150	m2	0.450
せき板	420×300×20	枚	1.000

※田面排水ボックス及びせき板等の形状は、地権者に聞き取りを行い、最終決定すること。

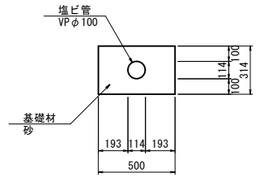
地先境界ブロック S=1:10



数 量 表 10.0m当り

名 称	規 格	単位	数 量
地先境界ブロック	150×150×600	m	10.000
敷モルタル	1:3	m3	0.030
基礎材	RC-40 t=100	m2	2.000

管渠工 VPφ100 S=1:20



数 量 表 10.0m当り

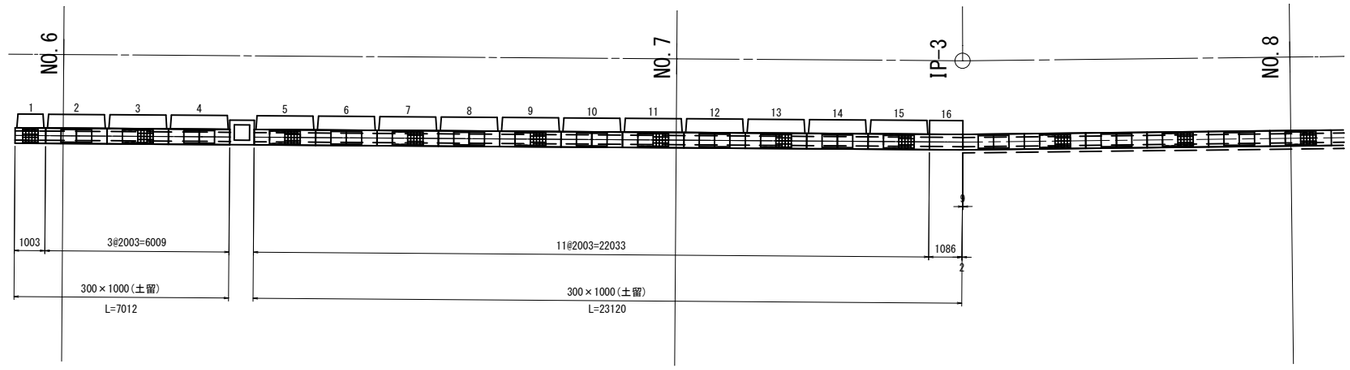
名 称	規 格	単位	数 量
塩ビ管	VPφ100	m	10.000
砂基礎	砂	m3	1.468

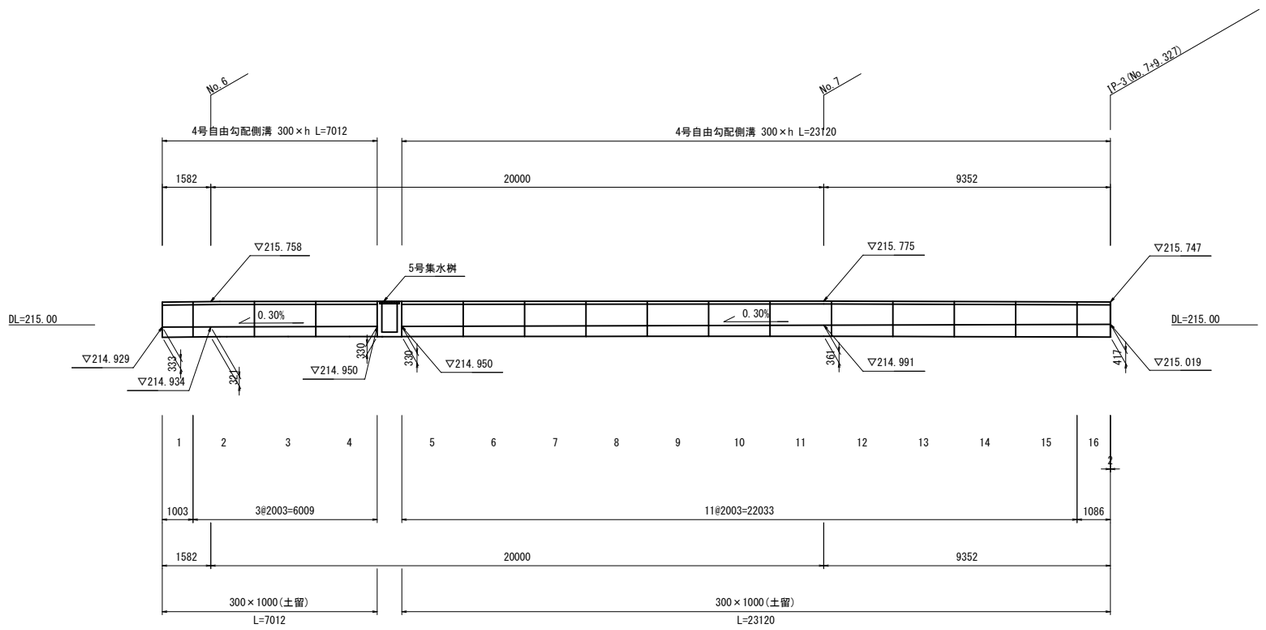
２３号線(1工区)

工事名	令和８年度　西条第二地区地区計画整備事業 地区計画道路２３号線道路改良工事		
図面名	構　造　図		
年月日	令和 ７年 ７月		
縮　尺	1：20	図面番号	6
路線名	地区計画道路２３号線		
事業者名	東広島市 都市交通部 都市整備課 市街地整備係		

4号自由勾配側溝割付図(1)

平面図 S=1:100





２３号線(1工区)

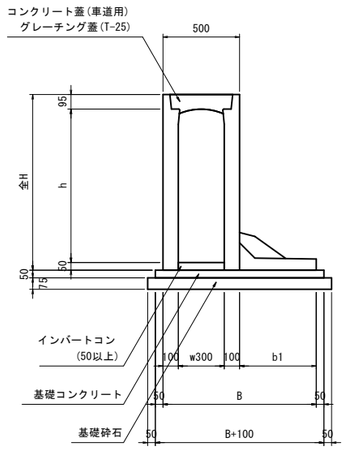
工事名	令和８年度　西条第二地区地区計画整備事業 地区計画道路２３号線道路改良工事		
図面名	自由勾配側溝割付図 (1/4)		
年月日	令和 ７年 ７月		
縮尺	図示	図面番号	7
路線名	地区計画道路２３号線		
事業者名	東広島市 都市交通部 都市整備課 市街地整備係		

4号自由勾配側溝割付図(2)

標 準 断 面 図

S=1:20

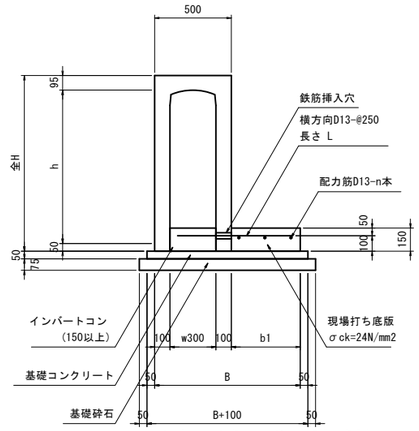
土留 w300×h



※h1200～1400は,分割式底版仕様となります
※インバートコンクリートを一度に投入すると,
打設圧により側溝が変形する可能性があるため,
250mm程度毎を目安に硬化を確認しながら投入して下さい。

規 格	全H	底版幅 b1	製品幅 B
w300×h1000	1145	500	1000

暗渠土留 w300×h



※インバートコンクリートを一度に投入すると,
打設圧により側溝が変形する可能性があるため,
250mm程度毎を目安に硬化を確認しながら投入して下さい。

規 格	全H	底版幅 b1	製品幅 B	連結鉄筋 L	配力筋 n本
w300×h1000	1145	450	950	750	3

4号自由勾配側溝数量表

名称	規格	長さ	タイプ	数量	単位	製品番号	備考
FV側溝	300×1000	1000	暗渠土留	1	本	1	
		2000	土留	14	本		
		1083	暗渠土留	1	本	16	
合計				16	本	1～16	
蓋版	300	500	車道	21	枚		
グレーチング		500	車道・T-25	8	枚		

※製品 No.1 ～ 16を集計しています。
※施工の伸びを、3mm見込んでいます。
※斜切製品は、斜切角度の緩い方から見て、L=左側/右側とします。

自由勾配側溝材料表

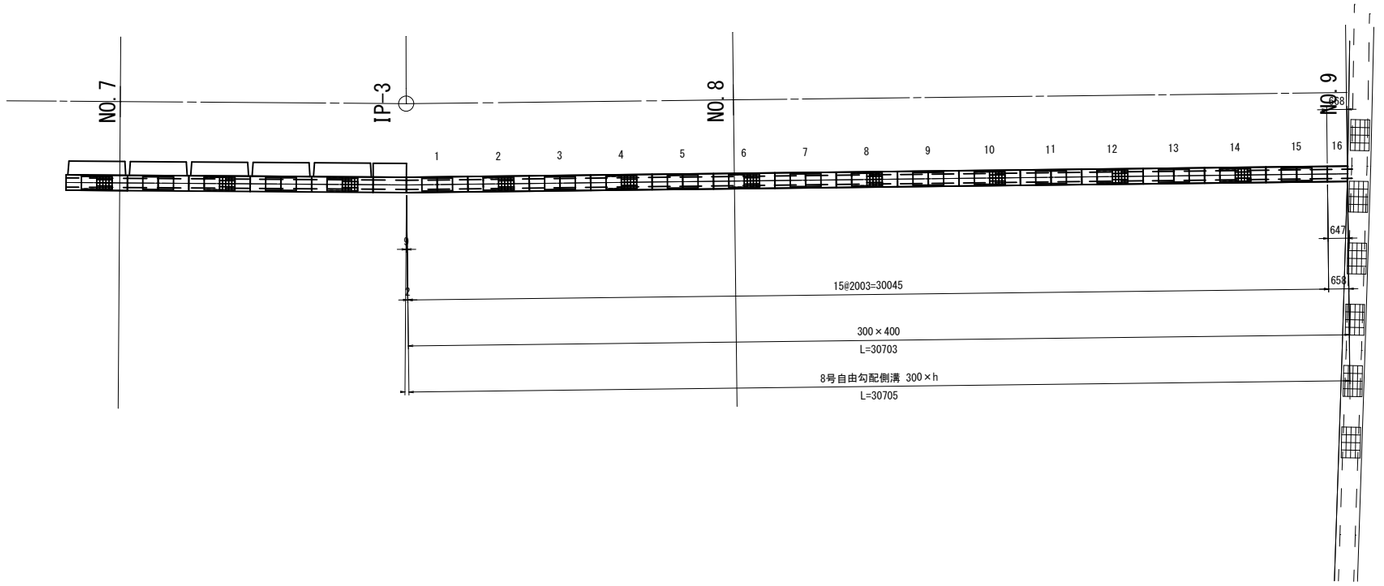
名称	規格	数量	単位
インバートコンクリート	σck=18N/mm2	3.096	m3
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	1.657	m3
同上型枠	均し基礎型枠	3.013	m2
基礎砕石	RC-40	36.158	m2
現場打ち底版コンクリート	σck=24N/mm2	0.135	m3
同上型枠	一般型枠	0.300	m2
同上鉄筋	SD345	13.433	kg

２３号線(1工区)

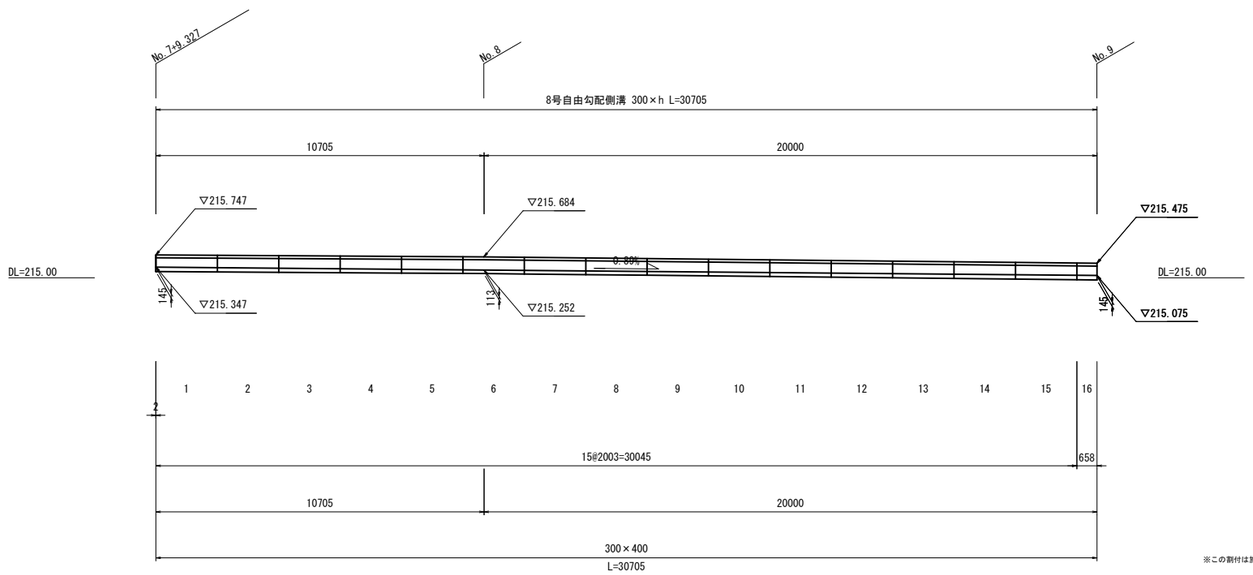
工 事 名	令和８年度　西条第二地区地区計画整備事業 地区計画道路２３号線道路改良工事		
図 面 名	自由勾配側溝割付図(2/4)		
年 月 日	令和 ７年 ７月		
縮　　尺	図 示	図面番号	8
路 線 名	地区計画道路２３号線		
事業者名	東広島市 都市交通部 都市整備課 市街地整備係		

8号自由勾配側溝割付図(1)

平面図 S=1:100



側面図 S=1:100



※この割付は施工の延びを3mm見込んでいます。

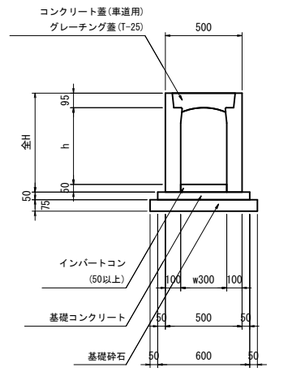
２３号線(1工区)

工事名	令和８年度　西条第二地区地区計画整備事業 地区計画道路２３号線道路改良工事		
図面名	自由勾配側溝割付図(3/4)		
年月日	令和 ７年 ７月		
縮尺	図示	図面番号	9
路線名	地区計画道路２３号線		
事業者名	東広島市 都市交通部 都市整備課 市街地整備係		

8号自由勾配側溝割付図(2)

標 準 断 面 図
S=1:20

標準 w300×h



※暗渠製品は,蓋掛がありません

規 格	全H
w300×h400	545

8号自由勾配側溝数量表

名称	規格	長さ	タイプ	数量	単位	製品番号	備考
FV側溝	300×400	2000	標準	15	本		
		665/644	暗渠	1	本	16	
合計				16	本	1～16	
蓋版	300	500	車道	23	枚		
グレーチング		500	車道・T-25	7	枚		

※製品 No.1 ～ 16を集計しています。

※施工の伸びを、3mm見込んでいます。

※斜切製品は、斜切角度の緩い方から見て、L=左側/右側とします。

自由勾配側溝材料表

名称	規格	数量	単位
インバートコンクリート	σck=18N/mm2	1.188	m3
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	0.921	m3
同上型枠	均し基礎型枠	3.071	m2
基礎砕石	RC-40	21.494	m2

２３号線(1工区)

工 事 名	令和８年度　西条第二地区地区計画整備事業 地区計画道路２３号線道路改良工事		
図 面 名	自由勾配側溝割付図(4/4)		
年 月 日	令和 ７年 ７月		
縮　　尺	図 示	図面番号	10
路 線 名	地区計画道路２３号線		
事業者名	東広島市 都市交通部 都市整備課 市街地整備係		

凡 例

平 面 図　　側 面 図

CL (起点側) (終点側)

※は現地施工済み箇所。

N

IP	IP-1
IA	15-12-00
R	15.000
TL	2.001
CL	3.979
SL	0.133

IP	IP-2
IA	14-45-49
R	15.000
TL	1.943
CL	3.865
SL	0.125

IP	IP-3
IA	1-04-41

IP	IP-4
IA	0-41-17

IP	IP-5
IA	0-44-57

２３号線(1工区)

工事名	令和８年度　西条第二地区地区計画整備事業 地区計画道路２３号線道路改良工事		
図面名	排水系統図		
年月日	令和 ７年 ７月		
縮尺	1：500	図面番号	11
路線名	地区計画道路２３号線		
事業者名	東広島市 都市交通部 都市整備課 市街地整備係		

参 考 図 書

工事名称　：　令和 8 年度　西条第二地区地区計画整備事業
地区計画道路 23 号線道路改良工事

＜注意事項＞

1　本工事は、数量公開の対象工事です。

2　この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。

数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、契約上の拘束をするものではありません。

3　その他

・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとしている。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種　別	施設の名称	所在地	運搬距離
粘性土	株式会社不動開発阿戸造成事業所	広島市安芸区阿戸町字茶屋垣内地内	11.8km

・当該工事により発生する Co 殻、As 殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種　別	施設の名称	所在地	運搬距離
As 殻	㈲ﾄﾗｽﾄ	西条町上三永 348-14	9.4 km
Co 殻（無筋）			
Co 殻（有筋）	シンクファーム㈱田万里コンクリートリサイクル施設	竹原市田万里字西小寺 11357	10.2 km

総括情報表

変更回数	0
適用単価地区	44 東広島市
単価適用日	00-08.09.01(0)
諸経費体系	1 公共(一般)

	当世代	前世代
工種	04 道路改良工事	
施工地域・工事場所区分	02 市街地(DID補正)	
復興補正区分	00 補正なし	
週休補正区分	09 閉所型・月単位	
現場事務所等の貸与区分	00 補正なし	
ＩＣＴ補正区分	00 補正なし	
冬期補正係数	00 補正なし	
緊急工事区分	00 通常工事 ０％	
前払金支出割合区分	00 補正無し	
契約保証区分	01 金銭的保証(0.04%)	

建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として，労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。

≪凡例≫

Co ･･･コンクリート　As ･･･アスファルト
DT ･･･ダンプトラック　BH ･･･バックホウ
CC ･･･クローラクレーン　TC ･･･トラッククレーン
RTC･･･ラフテレーンクレーン

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
道路改良	1	式			Y1E01　　レベル1
道路土工	1	式			Y1E0101　　レベル2
掘削工	1	式			Y1E010101　レベル3
掘削 表土	7	m3			Y1E01010101レベル4
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	7	m3			SPK26040001 00 単第0 -0001　表
残土処理工	1	式			Y1E010110　レベル3
土砂等運搬 粘性土	20	m3			Y1E01011002レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り　距離12.0km以下(9.0km超)	20	m3			SPK26040002 00 単第0 -0002　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
残土等処分	20	m3			Y1E01011003レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土処分費 株式会社不動産開発阿戸造成事務所	20	m3			F000000100　00
排水構造物工	1	式			Y1E0109　　レベル2
作業土工	1	式			Y1E010901　レベル3
床掘り	60	m3			Y1E01090102レベル4
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	60	m3			SPK26040014 00 単第0 -0003　表
埋戻し	40	m3			Y1E01090103レベル4
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準)	2	m3			SPK26040007 00 単第0 -0004　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	40	m3			SPK26040019 00 単第0 -0005 表
側溝工	1	式			Y1E010903 レベル3
自由勾配側溝 300×1000 土留	30	m			Y1E01090304レベル4
自由勾配側溝 材料別途 1000<重量≦2000	28	m			SDT00015 00 単第0 -0006 表
自由勾配側溝 材料別途 1000≧重量	2	m			SDT00015 00 単第0 -0007 表
自由勾配側溝 B300-H1000-L2000 （土留型）	14	本			F0000000004 00
自由勾配側溝 B300-H1000-L1000（暗渠型）	2	本			F0000000005 00
現場打底板	2	m			V0000000001 00 単第0 -0008 表
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(普通)	3	m3			T0337 00

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
自由勾配側溝 300×400	31	m			Y1E01090304レベル4
自由勾配側溝 材料別途 1000≧重量	31	m			SDT00015　00 単第0 -0012　表
自由勾配側溝_ふた2枚掛製品_側溝本体 300*400*2000 参考質量399kg	15	本			T2160047　00
自由勾配側溝 B300-H400-L1000　（暗渠型）	1	本			F0000000006 00
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(普通)	1	m3			T0337　00
側溝蓋 ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋	44	枚			Y1E01090305レベル4
蓋版 自由勾配側溝ふた 300[400×95×500]	44	枚			SDT00017　00 単第0 -0013　表
側溝蓋 グレーチング　細目　L=500	15	枚			Y1E01090305レベル4
蓋版 蓋版(各種) 40≧重量	15	枚			SDT00017　00 単第0 -0014　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管渠工	1	式			Y1E010904　レベル3
暗渠排水管 VPΦ100	2	m			Y1E01090403レベル4
VPΦ100	2	m			V0000000002 00 単第0 -0015　表
集水桝・マンホール工	1	式			Y1E010905　レベル3
現場打ち集水桝 6号集水桝	2	箇所			Y1E01090502レベル4
現場打ち集水桝・街渠桝(本体) 18-8-25(20)BB 0.43m3を超え0.46m3以下	2	箇所			SPK26040104 00 単第0 -0017　表
足掛金物 W=300	4	個			F0000000010 00
蓋版 鋼製グレーチング-ノンスリップますぶた 落込式細目(鎖付),500×500,T-25	2	枚			SDT00017　00 単第0 -0018　表
現場打ち集水桝 田面排水ﾎﾞｯｸｽ	1	箇所			Y1E01090502レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
田面排水ﾎﾞｯｸｽ	1	箇所			V0000000003 00 単第0 -0019 表
構造物撤去工	1	式			Y1E0112 レベル2
構造物取壊し工	1	式			Y1E011206 レベル3
コンクリート構造物取壊し 無筋	7	m3			Y1E01120601レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工(大型ブレーカまたは、Co圧砕機)	7	m3			SDT00031 00 単第0 -0022 表
コンクリート構造物取壊し 鉄筋	0.1	m3			Y1E01120601レベル4
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 人力施工(コンクリートブレーカ)	0.1	m3			SDT00033 00 単第0 -0023 表
舗装版切断	100	m			Y1E01120602レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	100	m			SPK26040304 00 単第0 -0024 表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版破砕	45	m2			Y1E01120603レベル4
舗装版破砕積込(小規模土工)	45	m2			SPK26040017 00 単第0 -0025　表
運搬処理工	1	式			Y1E011216　レベル3
殻運搬 コン殻 無筋	7	m3			Y1E01121601レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離10.9km以下(8.0km超)	7	m3			SPK26040155 00 単第0 -0026　表
殻運搬 コン殻 有筋	0.1	m3			Y1E01121601レベル4
殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離10.9km以下(8.0km超)	0.1	m3			SPK26040155 00 単第0 -0027　表
殻運搬 アス殻	2	m3			Y1E01121601レベル4
殻運搬 舗装版破砕 DID区間有り 運搬距離11.0km以下(8.0km超)	2	m3			SPK26040155 00 単第0 -0028　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻処分 コン殻（無筋）	16	t			Y1E01121602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コン殻処分費　無筋 有限会社　トラスト	16	t			F000000200　00
殻処分 コン殻（有筋）	0.2	t			Y1E01121602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コン殻処分費　有筋 シンクファーム株式会社　コンクリートリサ	0.2	t			F000000300　00
殻処分 アス殻	5	t			Y1E01121602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
アスファルト殻処分費 有限会社　トラスト	5	t			F000000400　00

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設工	1	式			Y1E0115　レベル2
交通管理工	1	式			Y1E011521　レベル3
交通誘導警備員	18	人			Y1E01152101レベル4
交通誘導警備員B	18	人			R0369　00
舗装	1	式			Y1E02　レベル1
舗装工	1	式			Y1E0204　レベル2
アスファルト舗装工	1	式			Y1E020404　レベル3
下層路盤(車道・路肩部) RC-30 t=100	46	m2			Y1E02040401レベル4
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-30	46	m2			SPK26040232 00 単第0 -0029　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 t=100	37	m2			Y1E02040403レベル4
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚100㎜ 1層施工	37	m2			SPK26040234 00 単第0 -0030 表
表層(車道・路肩部) t=5cm 再生密粒度As	46	m2			Y1E02040409レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50㎜以下) 1層当り平均仕上厚50㎜	46	m2			SPK26040241 00 単第0 -0031 表
コンクリート舗装工	1	式			Y1E020412 レベル3
張コンクリート t=10cm	0.2	m2			Y1E02041207レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB 人力打設	0.02	m3			SPK26040157 00 単第0 -0032 表
縁石工	1	式			Y1E0206 レベル2
作業土工	1	式			Y1E020601 レベル3

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
床掘り	1	m3			Y1E02060102レベル4
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	1	m3			SPK26040014 00 単第0 -0003 表
埋戻し	1	m3			Y1E02060103レベル4
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	1	m3			SPK26040019 00 単第0 -0005 表
縁石工	1	式			Y1E020603 レベル3
地先境界ブロック C種(150×150×600)	14	m			Y1E02060302レベル4
地先境界ブロック C種(150×150×600) 設置 RC-40	14	m			SPK26040288 00 単第0 -0033 表
＊＊直接工事費＊＊ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊消費税相当額＊＊ 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事費計＊＊					
＊＊契約保証費計＊＊					

施工単価表

掘削　　SPK26040001　　単第0 -0001　表

土砂 上記以外(小規模)　　標準　　1　　m3　　当り

機械構成比:　27.65%　　労務構成比:　61.34%　　材料構成比:　11.01%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　1,342.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排3 バケット容量0.28m3	27.65%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排出ガス対策型(第3次基準値) バケット容量0.28m3		MTPC00185 MTPT00185
運転手(特殊)	61.34%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	11.01%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　土砂 E=7　標準			B=5　上記以外(小規模)		

施工単価表

土砂等運搬　　SPK26040002　　単第0 -0002　表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)　　DID区間有り　距離12.0km以下(9.0km超)　　1　　m3　　当り

機械構成比:　25.12%　　労務構成比:　63.12%　　材料構成比:　11.76%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　3,622.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 通称4t積級	25.12%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	63.12%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	11.76%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2　小規模 C=1　土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=44　距離12.0km以下(9.0km超)			B=5　バックホウ B容量0.28m3 D=2　DID区間有り		

施工単価表

床掘り　　SPK26040014　　単第0 -0003　表

土砂 上記以外(小規模)　　1　m3　当り

機械構成比: 19.50%　労務構成比: 73.36%　材料構成比: 7.14%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 2,397.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排3 バケット容量0.28m3	19.50%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排3 バケット容量0.28m3		MTPC00189 MTPT00189
運転手(特殊)	39.84%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.52%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　土砂 E=1　-(全ての費用)			B=5　上記以外(小規模)		

施工単価表

積込(ルーズ)　　SPK26040007　　単第0 -0004　表

土砂　　小規模(標準)　　1　　m3　　当り

機械構成比:　27.65%　労務構成比:　61.34%　材料構成比:　11.01%　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　1,183.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排3 バケット容量0.28m3	27.65%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排出ガス対策型(第3次基準値) バケット容量0.28m3		MTPC00185 MTPT00185
運転手(特殊)	61.34%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	11.01%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　土砂			B=4　小規模(標準)		

施工単価表

埋戻し　　SPK26040019　　単第0 -0005　表

土砂　　上記以外(小規模)　　1　　m3　　当り

機械構成比:　9.23%　労務構成比:　86.75%　材料構成比:　4.02%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価:　4,309.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排3 バケット容量0.28m3	8.67%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排3 バケット容量0.28m3		MTPC00189 MTPT00189
タンパ及びランマ ランマ 通称60～80kg級	0.56%		ランマ 通称質量60～80kg級		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	49.78%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.17%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.85%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5　上記以外(小規模) D=1　-(全ての費用)			B=1　土砂		

施工単価表

埋戻し　　SPK26040019　　単第0 -0005　表

土砂　　上記以外(小規模)　　1　　m3　　当り

機械構成比: 9.23%　労務構成比: 86.75%　材料構成比: 4.02%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 4,309.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考

施工単価表

自由勾配側溝　　SDT00015　　単第0 -0006　表

材料別途 1000<重量≦2000　　1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_自由勾配側溝【手間のみ】 L=2000_1000を超え2000/個以下 時間的制約なし	1.000	m			
再生クラッシャラン 40～0mm	0.108	m3			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	0.058	m3			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　昼間施工 D=2　1000<重量≦2000 F=1　-			B=51　材料別途 E=1　時間的制約なし G=2　RC-40		
I=0.9　基礎砕石の設計数量(m3/10m) L=0.55　基礎及び底部Coの設計数量(m3/10m)			J=1　18-8-40BB M=1　-		

施工単価表

自由勾配側溝　　SDT00015　　単第0 -0007　表

材料別途 1000≧重量　　1　　m　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_自由勾配側溝【手間のみ】 L=2000_1000kg/個以下 時間的制約なし	1.000	m			
再生クラッシャラン 40～0mm	0.104	m3			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	0.056	m3			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　昼間施工 D=1　1000≧重量 F=1　-			B=51　材料別途 E=1　時間的制約なし G=2　RC-40		
I=0.863　基礎砕石の設計数量(m3/10m) L=0.525　基礎及び底部Coの設計数量(m3/10m)			J=1　18-8-40BB M=1　-		

施工単価表

現場打底板　　V0000000001　　単第0 -0008　表

1　　m　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 小型構造物 24-12-25(20)BB 人力打設	0.068	m3			単第0-0009　表
型枠 一般型枠 小型構造物	0.15	m2			単第0-0010　表
鉄筋 SD345 D13	0.007	t			単第0-0011　表
諸雑費	0.000	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

コンクリート　　SPK26040157　　単第0 -0009　表

小型構造物 24-12-25(20)BB　　人力打設　　1　m3　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 41.24%　材料構成比: 58.76%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 38,619.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	22.34%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.14%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	7.74%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	58.76%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=1 24-12-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

型枠　　SPK26040159　　単第0 -0010　表

一般型枠　　小型構造物　　1　　m2　　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 100.00%　材料構成比: 0.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 9,646.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	44.38%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.83%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.75%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1　一般型枠 C=1　-(全ての費用)			B=2　小型構造物		

施工単価表

鉄筋　　SPK26040332　　単第0 -0011　表

SD345 D13　　1　t　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 71.93%　材料構成比: 28.07%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 414,160.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
鉄筋工	40.95%		鉄筋工		RTPC00018 RTPT00018
普通作業員	19.41%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.16%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
異形棒鋼<JISG3112> SD345,D13 単位質量0.995kg/m	28.07%		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13		TTPC00001 TTPT00001
積算単価			積算単価		EP001
A=4　SD345 D13			B=1　-(全ての費用)		

施工単価表

自由勾配側溝　　SDT00015　　単第0 -0012　表

材料別途 1000≧重量　　1　　m　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_自由勾配側溝【手間のみ】 L=2000_1000kg/個以下 時間的制約なし	1.000	m			
再生クラッシャラン 40～0mm	0.064	m3			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	0.032	m3			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　昼間施工 D=1　1000≧重量 F=1　-			B=51　材料別途 E=1　時間的制約なし G=2　RC-40		
I=0.53　基礎砕石の設計数量(m3/10m) L=0.3　基礎及び底部Coの設計数量(m3/10m)			J=1　18-8-40BB M=1　-		

施工単価表

蓋版　　SDT00017　　単第0 -0013　表

自由勾配側溝ふた　　300[400×95×500]　　1　　枚　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_蓋版【手間のみ】 コンクリート・鋼製_40を超え170kg/枚以下 時間的制約なし	1.000	枚			
自由勾配側溝_ふた2枚掛製品 車道用ふた300用(400×95×500) 参考質量41kg	1.000	枚			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	枚			
A=1　昼間施工 C=23　300[400×95×500] G=1　-			B=5　自由勾配側溝ふた F=1　時間的制約なし		

施工単価表

蓋版　　SDT00017　　単第0 -0014　表

蓋版(各種) 40≧重量　　1　　枚　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_蓋版【手間のみ】 コンクリート・鋼製_40kg/枚以下 時間的制約なし	1.000	枚			
自由勾配側溝用蓋 グレーチング　B300　L=500　細目	1.000	枚			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	枚			
A=1　昼間施工 D=7　【F】蓋版(枚) F=1　時間的制約なし			B=9　蓋版(各種) E=1　40≧重量 G=1　-		

施工単価表

VPΦ100　　V0000000002　　単第0 -0015　表

10　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
暗渠排水管 　据付 直管 50～150mm 　硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径100mm	10	m			単第0-0016　表
積込(ルーズ) 　土砂 　小規模(標準)	1.5	m3			単第0-0004　表
再生砂	1.5	m3			
諸雑費	0.000	式			
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

暗渠排水管　　SPK26040093　　単第0 -0016　表

据付 直管 50～150mm　　硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径100mm　　1　m　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 51.25%　材料構成比: 48.75%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 880.45000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	36.54%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	14.71%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
一般管(VP)(JISK6741)PE 呼び径100(114×6.6) 参考質量3.409kg/m	48.75%		暗渠排水管 直管 呼び径75mm ポリエチレン吸水管		TTPCD0394 TTPT00188
積算単価			積算単価		E9999
A=1 据付 C=1 50～150mm G=1 -			B=1 直管 D=54 硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径100mm I=1 -(全ての費用)		

施工単価表

現場打ち集水桝・街渠桝(本体)　SPK26040104　単第0 -0017　表

18-8-25(20)BB　0.43m3を超え0.46m3以下　1　箇所　当り

機械構成比: 0.07%　労務構成比: 86.14%　材料構成比: 13.79%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 72,507.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	0.07%		バックホウ(クローラ型) バケット容量0.8m3		KTPC00018 KTPT00018
型わく工	33.39%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	29.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.14%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	2.07%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	13.49%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPC00003 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.07%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

現場打ち集水桝・街渠桝(本体)　SPK26040104　単第0 -0017　表

18-8-25(20)BB　0.43m3を超え0.46m3以下　1　箇所　当り

機械構成比: 0.07%　労務構成比: 86.14%　材料構成比: 13.79%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 72,507.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		E9999
A=1 18-8-25(20)BB D=2 人力打設 F=1 -			C=12 0.43m3を超え0.46m3以下 E=1 一般養生・特殊養生(練炭)		

施工単価表

蓋版　　SDT00017　　単第0 -0018　表

鋼製グレーチング-ノンスリップますぶた　　落込式細目(鎖付),500×500,T-25　　1　　枚　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_蓋版【手間のみ】 コンクリート・鋼製_40を超え170kg/枚以下 時間的制約なし	1.000	枚			
鋼製グレーチング-ノンスリップますぶた- 落込式細目(鎖付),500×500,T-25 参考質量65.1kg	1.000	組			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	枚			
A=1　昼間施工 C=67　落込式細目(鎖付),500×500,T-25 G=1　-			B=8　鋼製グレーチング-ノンスリップますぶた F=1　時間的制約なし		

施工単価表

田面排水ﾎﾞｯｸｽ　　V0000000003　　単第0 -0019　表

1　箇所　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 小型構造物 18-8-25(20)BB 人力打設	0.123	m3			単第0-0020　表
型枠 一般型枠 小型構造物	1.35	m2			単第0-0010　表
基礎砕石 砕石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下 RC-40	0.450	m2			単第0-0021　表
せき板 420×300	1	枚			
諸雑費	0.000	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

施工単価表

コンクリート　　SPK26040157　　単第0 -0020　表

小型構造物 18-8-25(20)BB　　人力打設　　1　m3　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 41.24%　材料構成比: 58.76%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 38,619.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	22.34%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.14%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	7.74%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	58.76%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2　小型構造物 C=3　18-8-25(20)BB H=2　現場内小運搬無し K=1　-(全ての費用)			B=3　人力打設 F=2　一般養生 J=1　-		

施工単価表

基礎砕石　　SPK26040033　　単第0 -0021　表

砕石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下　　RC-40　　1　　m2　　当り

機械構成比:　4.85%　　労務構成比:　75.15%　　材料構成比:　20.00%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　1,388.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	4.82%		バックホウ(クローラ型) バケット容量0.8m3		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	36.15%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	15.29%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	14.16%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	9.03%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャラン 40～0mm	15.16%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	4.81%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

基礎砕石　　SPK26040033　　単第0 -0021　表

砕石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下　　RC-40　　1　　m2　　当り

機械構成比:　4.85%　労務構成比:　75.15%　材料構成比:　20.00%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　1,388.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=3　砕石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下 D=1　-(全ての費用)			B=1　RC-40		

施工単価表

構造物とりこわし工(無筋構造物)　SDT00031　単第0 -0022　表

機械施工(大型ブレーカまたは、Co圧砕機)　1　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_無筋構造物【手間のみ】 機械施工 時間的制約なし	1.000	m3			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=1　昼間施工 C=2　低騒音・低振動対策			B=1　機械施工(大型ブレーカまたは、Co圧砕機) D=1　時間的制約なし		

施工単価表

構造物とりこわし工(鉄筋構造物)　SDT00033　単第0 -0023　表

人力施工(コンクリートブレーカ)　1　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_鉄筋構造物【手間のみ】 人力施工 時間的制約なし	1.000	m3			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=1　昼間施工 D=1　時間的制約なし			B=2　人力施工(コンクリートブレーカ)		

施工単価表

舗装版切断　　SPK26040304　　単第0 -0024　表

アスファルト舗装版　　アスファルト舗装版厚15cm以下　　1　m　当り

機械構成比: 14.40%　労務構成比: 58.90%　材料構成比: 26.70%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 731.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)･湿式･E駆動 通称(切削深)20cm級ブレード径φ56cm	9.80%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式・E駆動 通称(切削深)20cm級 ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	20.20%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.89%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	9.00%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.47%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.88%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版切断　　SPK26040304　　単第0 -0024　表

アスファルト舗装版　　アスファルト舗装版厚15cm以下　　1　m　当り

機械構成比: 14.40%　労務構成比: 58.90%　材料構成比: 26.70%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 731.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 E=1 -(全ての費用)			B=1 アスファルト舗装版厚15cm以下		

施工単価表

舗装版破砕積込(小規模土工)　　SPK26040017　　単第0 -0025　表

1　　m2　　当り

機械構成比:　21.20%　労務構成比:　70.89%　材料構成比:　7.91%　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　1,871.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 バケット容量0.13m3	21.20%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 バケット容量0.13m3		MTPC00184 MTPT00184
運転手(特殊)	70.89%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.91%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　　-(全ての費用)					

施工単価表

殻運搬　　SPK26040155　　単第0 -0026　表

Co(無筋)構造物とりこわし　　DID区間有り　運搬距離10.9km以下(8.0km超)　　1　　m3　　当り

機械構成比:　39.03%　　労務構成比:　46.18%　　材料構成比:　14.79%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　2,145.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 通称10t積級	39.03%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	46.18%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	14.79%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　Co(無筋)構造物とりこわし C=2　DID区間有り E=1　-(全ての費用)			B=1　機械積込 D=44　運搬距離10.9km以下(8.0km超)		

施工単価表

殻運搬　　SPK26040155　　単第0 -0027　表

Co(鉄筋)構造物とりこわし　　DID区間有り　運搬距離10.9km以下(8.0km超)　　1　　m3　　当り

機械構成比:　39.03%　　労務構成比:　46.18%　　材料構成比:　14.79%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　2,640.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 通称10t積級	39.03%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	46.18%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	14.79%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2　Co(鉄筋)構造物とりこわし C=2　DID区間有り E=1　-(全ての費用)			B=1　機械積込 D=44　運搬距離10.9km以下(8.0km超)		

施工単価表

殻運搬　　SPK26040155　　単第0 -0028　表

舗装版破砕　　DID区間有り　運搬距離11.0km以下(8.0km超)　　1　　m3　　当り

機械構成比:　19.09%　　労務構成比:　72.09%　　材料構成比:　8.82%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　8,245.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 通称2t積級	19.09%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.09%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	8.82%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3　舗装版破砕 C=2　DID区間有り E=1　-(全ての費用)			B=4　機械積込(小規模土工) D=45　運搬距離11.0km以下(8.0km超)		

施工単価表

下層路盤(車道・路肩部)　SPK26040232　単第0 -0029　表

全仕上り厚100㎜ 1層施工　RC-30　1　m2　当り

機械構成比: 5.50%　労務構成比: 18.62%　材料構成比: 75.88%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,337.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	3.81%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.47%		ロードローラ マカダム 運転質量10t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13～14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.46%		タイヤローラ 運転質量13～14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	8.20%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	3.00%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.68%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	2.17%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

下層路盤(車道・路肩部)　SPK26040232　単第0 -0029　表

全仕上り厚100㎜ 1層施工　RC-30　1　m2　当り

機械構成比: 5.50%　労務構成比: 18.62%　材料構成比: 75.88%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,337.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生クラッシャラン 30～0㎜	74.09%		クラッシャラン 40～0㎜ [標準数量]全仕上り厚150㎜		TTPCD0018 TTPT00346
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.55%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100　全仕上り厚(㎜) D=1　-(全ての費用)			B=3　RC-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(㎜)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(㎜):100.000(㎜)					

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)　SPK26040234　単第0 -0030　表

RM-30　全仕上り厚100㎜ 1層施工　1　m2　当り

機械構成比: 11.39%　労務構成比: 38.57%　材料構成比: 50.04%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 646.43000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	7.88%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.98%		ロードローラ マカダム 運転質量10t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13～14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.96%		タイヤローラ 運転質量13～14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	16.98%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	6.21%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	5.55%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	4.51%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)　SPK26040234　単第0 -0030　表

RM-30　全仕上り厚100㎜ 1層施工　1　m2　当り

機械構成比: 11.39%　労務構成比: 38.57%　材料構成比: 50.04%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 646.43000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整砕石 30～0㎜	46.32%		再生粒度調整砕石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150㎜		TTPC00010 TTPT00357
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.21%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=5　RM-30 H=1　-(全ての費用)			E=100　全仕上り厚(㎜)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(㎜)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(㎜):100.000(㎜)					

施工単価表

表層(車道・路肩部)　SPK26040241　単第0 -0031　表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)　1層当り平均仕上厚50mm　1　m2　当り

機械構成比: 0.42%　労務構成比: 44.56%　材料構成比: 55.02%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 3,034.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t	0.23%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクタ 前進型 通称40～60kg級	0.13%		振動コンパクタ 前進型 通称40～60kg級		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.70%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.12%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.27%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	50.19%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	4.60%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

施工単価表

表層(車道・路肩部)　SPK26040241　単第0 -0031　表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)　1層当り平均仕上厚50mm　1　m2　当り

機械構成比: 0.42%　労務構成比: 44.56%　材料構成比: 55.02%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 3,034.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.17%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

コンクリート　　SPK26040157　　単第0 -0032　表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB　　人力打設　　1　m3　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 28.77%　材料構成比: 71.23%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 32,152.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	12.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.34%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	71.23%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=3 18-8-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

地先境界ブロック　　SPK26040288　　単第0 -0033　表

C種(150×150×600)　　設置 RC-40　　1　m　当り

機械構成比: 0.46%　労務構成比: 73.57%　材料構成比: 25.97%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 5,011.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	0.46%		バックホウ(クローラ型) バケット容量0.8m3		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	32.44%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	18.35%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	17.61%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	1.37%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
地先境界(JISA5371)C 150×150×600 参考質量32kg	24.53%		地先境界ブロック C種(150×150×600)		TTPCD0166 TTPT00256
再生クラッシャラン 40～0mm	0.98%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.46%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

地先境界ブロック　　SPK26040288　　単第0 -0033　表

C種(150×150×600)　　設置 RC-40　　1　m　当り

機械構成比: 0.46%　労務構成比: 73.57%　材料構成比: 25.97%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 5,011.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		E9999
A=1 設置 E=1 RC-40			B=3 C種(150×150×600) F=4 生コンクリート無し		

地 区 計 画 道 路 ２３ 号 線 数 量 計 算 書

【1工区】

（本業務成果）

数　量　総　括　表

工　種	種　別	細　目	単位	計算過程の数値	設計計上数値	摘　要
道路土工	掘削工					
	表土剥取り	粘性土	m3	7.2	7	
	残土処理工					
		残土、砂質土	m3	10.9	10	不足土
		残土、粘性土	〃	4.6	5	
排水構造物工	作業土工					
	床　掘	砂質土	m3	57.4	60	
	埋　戻	埋戻種別：C	m3	5.6	10	
		埋戻種別：D	〃	36.1	40	
		埋戻種別：耕土	〃	2.3	2	
	基面整正	砂質土	m2	1.6	2	
	管渠工	VPφ100	m	2.1	2	
	集水桝	6号集水桝	箇所	2.0	2	
		田面排水ボックス	〃	1.0	1	
	自由勾配側溝工					
	4号自由勾配側溝					
	側　溝	300×1000×1000 (暗渠土留)	本	1.0	1	
		300×1000×2000 (土留)	〃	14.0	14	
		300×1000×1083 (暗渠土留)	〃	1.0	1	
	コンクリート蓋 (車 道)	300×500	枚	21.0	21	
	グレーチング蓋 (車道・T-25t用)	300×500	〃	8.0	8	
	インバートコンクリート	σck=18N/mm2	m3	3.1	3	
	現場打ち底板ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=24N/mm2	m3	0.14	0.14	
	同上型枠		m2	0.3	0.3	
	同上鉄筋	SD345	kg	13.4	13	
	8号自由勾配側溝					

数　量　総　括　表

工　種	種　別	細　目	単位	計算過程の数値	設計計上数値	摘　要
	側　溝	300×400×2000 (標準)	本	15.0	15	
		300×400×665/644 (暗渠)	〃	1.0	1	
	コンクリート蓋 (車 道)	300×500	〃	23.0	23	
	グレーチング蓋 (車道・T-25t用)	300×500	〃	7.0	7	
	インバートコンクリート	σck=18N/mm2	m3	1.2	1	
構造物撤去工	構造物取壊し工					
	コンクリート構造物 取壊し	無筋構造物	m3	6.9	7	
	〃	有筋構造物	〃	0.1	0.1	
	舗装版取壊し	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 t=10cm以下	m2	44.8	45	
	カッター切断	As版 t=15cm以下	m	104.6	100	
	運搬処理工					
	コンクリート殻	無筋	m3	6.9	7	
		有筋	〃	0.1	0.1	
	アスファルト殻		m3	2.2	2	
舗装工	車道舗装					
	表層工	再生密粒度ｱｽｺﾝ t= 5cm	m2	45.6	46	
	上層路盤工	再生粒度調整砕石 (RM-30) t=10cm	〃	36.5	37	
	下層路盤工	再生切込砕石 (RC-30) t=10cm	〃	45.6	46	
	張コンクリート					
	コンクリート版	σck=18N/mm2 t=10cm	m2	0.2	0.2	
縁石工	作業土工					
	床　掘	砂質土	m3	1.1	1	
	埋　戻	埋戻種別：C	m3	1.1	1	
	地先境界ブロック	150×150×600	m	14.4	14	

道 路 土 工 数 量 計 算 書

計第　　表　　**道 路 土 工**　　数　量　集　計　表

名　　称	規　　格	形 状 寸 法	単 位	合　　計	摘　　要
掘削工					
表土剥取り	粘性土	C(C)	m3	7.2	
残土処理工					
	残　土	砂質土	m3	10.9	
	〃	粘性土	〃	4.6	

計第　　表　　**土 量 配 分 表**　　計 算 書

◆ 作業形態別土工

床掘 (砂質土)

擁壁工	0.0	58.5
排水工	57.4	
縁石工	1.1	

47.6 ×0.9= 42.8

0.0

58.5-(47.6+0.0)
=0.0

10.9

埋 戻 Fu ( ) =

擁壁工	Fu (C)	0.0	
	Fu (D)	0.0	
排水工	Fu (C)	5.6	
	Fu (D)	36.1	42.8
縁石工		1.1	

◆ 盛 土

0.0 ×0.9= 0.0

路床盛土		0.0
W＜2.5m		
2.5m≦W＜4.0m		
4.0m≦W		
路体盛土		
W＜2.5m		
2.5m≦W＜4.0m		
4.0m≦W		

◆ 片 切 掘 削

砂質土		

0.0 ×0.9= 0.0

0.0

◆ オープン 掘 削

砂質土		

0.0

残土処分

砂質土	10.9
不良土	
粘性土	4.6

(数量計算書より)

(数量計算書より)

埋戻Fu(耕)
7.2-(2.3)/0.9=4.6
擁壁工 排水工

計第　　表　　**掘 削・表 土 剥 取 り**　　計　　算　　書

測　　点	距　離	表土剥取り		C(C)						
		断面積	平　均	立　　積		平　均			平　均	
(左 側)										
EC2										
No.5										
No.5+10.0										
No.6		0.3	---	----						
No.7	14.8	0.3	0.30	4.4						
No.8	9.3	0.3	0.30	2.8						
No.9										

排 水 構 造 物 工 数 量 計 算 書

計第　　表　　**排水構造物工**　　数　量　集　計　表

名　　称	規　　格	形 状 寸 法	単 位	合　　計	摘　　要
作業土工					
床　掘	砂質土	E(SF)	m3	57.4	
埋　戻	埋戻種別：C	Fu(C)	m3	5.6	
〃	埋戻種別：D	Fu(D)	〃	36.1	
〃	埋戻種別：耕土	Fu(耕)	〃	2.3	
基面整正	砂質土	K(SF)	m2	1.6	
管渠工	VPφ100		m	2.1	
集水桝	6号集水桝		箇所	2.0	
	田面排水ボックス		箇所	1.0	
自由勾配側溝工					
4号自由勾配側溝	側　溝	300×1000×1000 (土留)	本	1.0	
		300×1000×2000 (土留)	〃	14.0	
		300×1000×1083 (暗渠土留)	〃	1.0	
	コンクリート蓋 (車 道)	300×500	枚	21.0	
	グレーチング蓋 (車道・T-25t用)	300×500	〃	8.0	
	インバートコンクリート	σck=18N/mm2	m3	3.1	
	現場打ち底板ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=24N/mm2	m3	0.14	
	同上型枠		m2	0.3	
	同上鉄筋	SD345	kg	13.4	
8号自由勾配側溝	側　溝	300×400×2000 (標準)	本	15.0	
		300×400×665/644 (暗渠)	〃	1.0	
	コンクリート蓋 (車 道)	300×500	枚	23.0	
	グレーチング蓋 (車道・T-25t用)	300×500	〃	7.0	
	インバートコンクリート	σck=18N/mm2	m3	1.2	

排水構造物工－作業土工　集計表

	床　　掘（m3）			埋　　戻（m3）			基面整正（m2）		
	砂質土			Fu(C)	Fu(D)	Fu(耕)	砂質土		
計算書より	50.2			5.6	30.5	2.3	0.0		
1号ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ桝									
1号集水桝									
2号集水桝									
3号集水桝									
4号集水桝									
5号集水桝									
6号集水桝	7.2				5.6		1.6		
合　　計	57.4			5.6	36.1	2.3	1.6		

計第　　表　　**排水構造物工－作業土工（１）**　　計　　算　　書

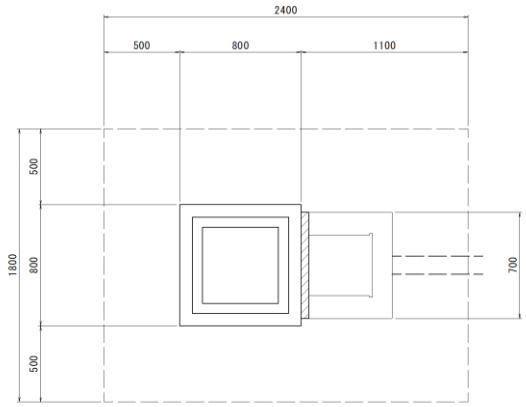
測　　点	距　離	床　掘（砂質土）		E(SF)	埋　戻		Fu(C)	埋　戻		Fu(D)
		断面積	平　均	立　積	断面積	平　均	立　積	断面積	平　均	立　積
右　側										
		2.1	---	----	0.8	---	----	0.7	---	----
No.6	1.8	2.1	2.10	3.8	0.8	0.80	1.4	0.7	0.70	1.3
	5.2	2.1	2.10	10.9	0.8	0.80	4.2	0.7	0.70	3.6
		0.6	---	----				0.7	---	----
No.7	14.0	0.6	0.60	8.4				0.7	0.70	9.8
	9.4	0.6	0.60	5.6				0.7	0.70	6.6
		0.7	---	----				0.3	---	----
No.8	10.7	0.7	0.70	7.5				0.3	0.30	3.2
No.9	20.0	0.7	0.70	14.0				0.3	0.30	6.0
右側 計				m3 50.2			m3 5.6			m3 30.5
左右総合計				m3 50.2			m3 5.6			m3 30.5

計第　　表　　**排水構造物工－作業土工（2）**　　計　　算　　書

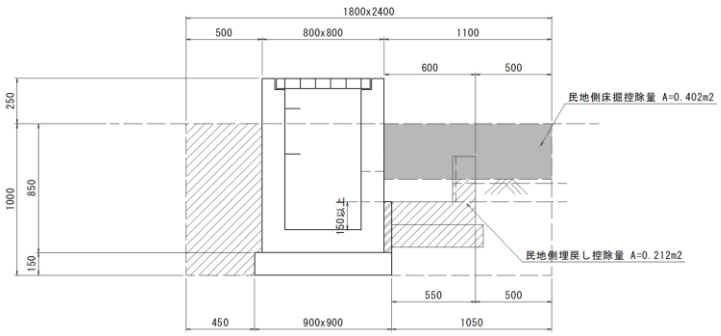
測　　点	距　離	埋　戻		Fu(耕)	基面整正（砂質土）		K(SF)			
		断面積	平　均	立　　積	幅	平　均	面　積		平　均	
右　側										
自由勾配側溝										
No.0+16.7					0.7	---	----			
No.0+19.6					0.7	---	----			
					0.7	---	----			
No.2					0.7	---	----			
No.3					0.7	---	----			
No.4					0.7	---	----			
BC1					0.7	---	----			
					0.7	---	----			
					1.2	---	----			
No.6	1.8				1.2	1.20	2.2			
	5.2				1.2	1.20	6.2			
		0.1	---	----	1.2	---	----			
No.7	14.0	0.1	0.10	1.4	1.2	1.20	16.8			
	9.4	0.1	0.10	0.9	1.2	1.20	11.3			
					0.7	---	----			
No.8	10.7				0.7	0.70	7.5			
No.9	20.0				0.7	0.70	14.0			
右側 計				m3 2.3			m2 58.0			
左右総合計				m3 2.3			m2 0.0			

作業土工　　６号集水桝　　数　量　計　算　書

平面図



断面図



名　　称	規 格	単位	算　　式	箇所 当り数量	延　長 箇　所	数 量
(砂質土　N=1 箇所)						
床掘	砂質土	m3	1.800×2.400×1.000－0.402×1.800	3.596	1.0	3.6
埋戻	D	m3	3.596－0.800×0.800×0.850－0.900×0.900×0.150			
			－0.212×0.700	2.782	1.0	2.8
基面整正	砂質土	m2	0.900×0.900	0.810	1.0	0.8

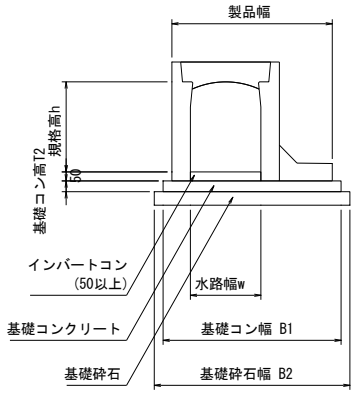
計第　　表	排 水 工 延 長 調 書 －（1）				計　　算　　書			
測　　点	管渠工 VPφ100							
左　側								
No.9								
No.9+10.0								
左 側 計		m 0.0		m 0.0				
右　側								
N0.6+5.5付近	2.1	計　　2.1						
右 側 計		m 2.1		m 0.0				
左右総合計		m 2.1		m 0.0				

計第　　表　**排水工延長調書－（2）**　　計　　算　　書

測　　点	1号 ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ桝	1号 集水桝	2号 集水桝	3号 集水桝	4号 集水桝	5号 集水桝	6号 集水桝	田面排水 ボックス
No.4+7.7付近（左）								
No.4+10.0付近（右）								
No.4+13.0付近（右）								
No.5+17.7付近（右）							1.0	
No.6+5.5付近（右）							1.0	1.0
No.9+0.3付近（左）								
No.9+1.4付近（左）								
No.10+7.4付近（右）								
No.13+15.3付近（左）								
合　計	箇所 0.0	箇所 0.0	箇所 0.0	箇所 0.0	箇所 0.0	箇所 0.0	箇所 2.0	箇所 1.0

4号自由勾配側溝断面図

土留部



4号自由勾配側溝材料表

名称	規格	数量	単位
インバートコンクリート	σck=18N/mm2	3.096	m3
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	1.657	m3
同上型枠	均し基礎型枠	3.013	m2
基礎砕石	RC-40	36.158	m2
現場打ち底版コンクリート	σck=24N/mm2	0.135	m3
同上型枠	一般型枠	0.300	m2
同上鉄筋	SD345	13.433	kg

4号自由勾配側溝数量表

備考　※製品 No.1 ～ 16を集計しています。
※施工の伸びを、3㎜見込んでいます。
※斜切製品は、斜切角度の緩い方から見て、L=左側/右側とします。

名称	規格	長さ	タイプ	数量	単位	製品番号	備考
FV側溝	300×1000	1000	暗渠土留	1	本	1	
		2000	土留	14	本		
		1083	暗渠土留	1	本	16	
合計				16	本	1～16	
蓋版	300	500	車道	21	枚		
グレーチング		500	車道・T-25	8	枚		

4号自由勾配側溝 寸法表

延長合計	30.131	m

内訳

種別	延長 L (m)	製品規格 w×h	幅(m)			インバート高さ(m)		基礎コン高 (m)T2
			製品 B	基礎コン B1	基礎砕石B2	左側 TL	右側 TR	
土留	1.003	300 ×1000	1.000	1.100	1.200	0.333	0.321	0.050
土留	6.009	300 ×1000	1.000	1.100	1.200	0.321	0.330	0.050
土留	22.033	300 ×1000	1.000	1.100	1.200	0.330	0.361	0.050
土留	1.086	300 ×1000	1.000	1.100	1.200	0.361	0.417	0.050

4号自由勾配側溝 インバートコンクリート数量計算

インバート コンクリート合計	3.096	m3

内訳

算式									
(	TL	+	TR	)/2×	w	×	L	=	V1	m3
(	0.333	+	0.321	)/2×	0.300	×	1.003	=	0.098	m3
(	0.321	+	0.330	)/2×	0.300	×	6.009	=	0.587	m3
(	0.330	+	0.361	)/2×	0.300	×	22.033	=	2.284	m3
(	0.361	+	0.417	)/2×	0.300	×	1.086	=	0.127	m3

4号自由勾配側溝 基礎コンクリート数量計算

基礎コンクリート合計	1.657	m3

内訳

算式

T2	×	B1	×	L	=	V2	m3
0.050	×	1.100	×	1.003	=	0.055	m3
0.050	×	1.100	×	6.009	=	0.330	m3
0.050	×	1.100	×	22.033	=	1.212	m3
0.050	×	1.100	×	1.086	=	0.060	m3

4号自由勾配側溝 基礎コンクリート型枠数量計算

基礎コンクリート型枠合計	3.013	m2

内訳

算式

2	×	T2	×	L	=	S1	m2
2	×	0.050	×	1.003	=	0.100	m2
2	×	0.050	×	6.009	=	0.601	m2
2	×	0.050	×	22.033	=	2.203	m2
2	×	0.050	×	1.086	=	0.109	m2

4号自由勾配側溝 基礎砕石数量計算

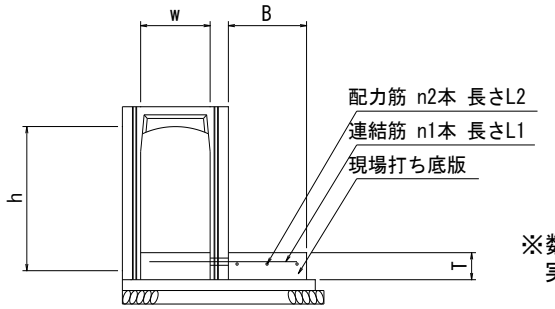
基礎砕石合計	36.158	m2

内訳

算式

B2	×	L	=	S2	m2
1.200	×	1.003	=	1.204	m2
1.200	×	6.009	=	7.211	m2
1.200	×	22.033	=	26.440	m2
1.200	×	1.086	=	1.303	m2

4号自由勾配側溝 現場打ち底版 材料表



※数量は,断面形状と延長から算出しているため,
実際の形状と多少の誤差があります。

自由勾配側溝 寸法表

製品番号	土留側延長 L (m)	製品規格 w×h	底版幅 B(m)	底版厚 T(m)	連結鉄筋		配力筋	
					径-n1本	長 L1(m)	径-n2本	長 L2(m)
16	1.083	300 ×1000	0.450	0.150	D13 -5	0.750	D13 -3	1.083
1	1.000	300 ×1000	0.450	0.150	D13 -5	0.750	D13 -3	1.000

現場打ち底版コンクリート数量計算

算式

T	×	B	×	L	=	V	m3
0.150	×	0.450	×	2.000	=	0.135	m3

(参考)1mあたり

0.150	×	0.450	×	1.000	=	0.068	m3

合計	**0.135**	**m3**

現場打ち底版コンクリート型枠数量計算

算式

T	×	L	=	S	m2
0.150	×	2.000	=	0.300	m2

(参考)1mあたり

0.150	×	1.000	=	0.150	m2

合計	**0.300**	**m2**

現場打ち底版コンクリート鉄筋数量計算

算式

n1	×	L1	×	単位質量	+	n2	×	L2	×	単位質量	=	W	kg
10	×	0.750	×	0.995	+	3	×	2.000	×	0.995	=	13.433	kg

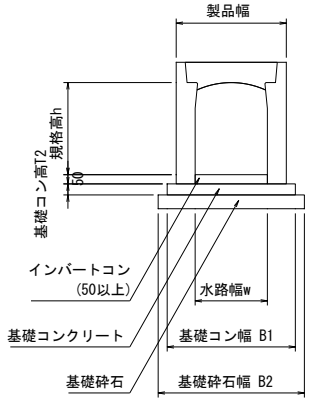
（参考）1mあたり

5	×	0.750	×	0.995	+	3	×	1.000	×	0.995	=	6.716	kg

合計	13.433	kg

8号自由勾配側溝断面図

一般部



8号自由勾配側溝材料表

名称	規格	数量	単位
インバートコンクリート	σck=18N/mm2	1.188	m3
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	0.921	m3
同上型枠	均し基礎型枠	3.071	m2
基礎砕石	RC-40	21.494	m2
現場打ち底版コンクリート	σck=24N/mm2		m3
同上型枠	一般型枠		m2
同上鉄筋	SD345		kg

8号自由勾配側溝数量表

備考　※製品 No.1 ～ 16を集計しています。
※施工の伸びを、3mm見込んでいます。
※斜切製品は、斜切角度の緩い方から見て、L=左側/右側とします。

名称	規格	長さ	タイプ	数量	単位	製品番号	備考
FV側溝	300×400	2000	標準	15	本		
		665/644	暗渠	1	本	16	
合計				16	本	1～16	
蓋版	300	500	車道	23	枚		
グレーチング		500	車道・T-25	7	枚		

8号自由勾配側溝 寸法表

延長合計	30.705	m

内訳

種別	延長 L (m)	製品規格 w×h	幅(m)			インバート高さ(m)		基礎コン高(m) T2
			製品 B	基礎コン B1	基礎砕石B2	左側 TL	右側 TR	
標準	10.705	300 ×400	0.500	0.600	0.700	0.145	0.113	0.050
標準	20.000	300 ×400	0.500	0.600	0.700	0.113	0.145	0.050

8号自由勾配側溝 インバートコンクリート数量計算

インバート コンクリート合計	1.188	m3

内訳

算式										
(	TL	+	TR	)/2×	w	×	L	=	V1	m3
(	0.145	+	0.113	)/2×	0.300	×	10.705	=	0.414	m3
(	0.113	+	0.145	)/2×	0.300	×	20.000	=	0.774	m3

8号自由勾配側溝 基礎コンクリート数量計算

基礎コンクリート合計	0.921	m3

内訳

算式

T2	×	B1	×	L	=	V2	m3
0.050	×	0.600	×	10.705	=	0.321	m3
0.050	×	0.600	×	20.000	=	0.600	m3

8号自由勾配側溝 基礎コンクリート型枠数量計算

基礎コンクリート型枠合計	3.071	m2

内訳

算式

2	×	T2	×	L	=	S1	m2
2	×	0.050	×	10.705	=	1.071	m2
2	×	0.050	×	20.000	=	2.000	m2

8号自由勾配側溝 基礎砕石数量計算

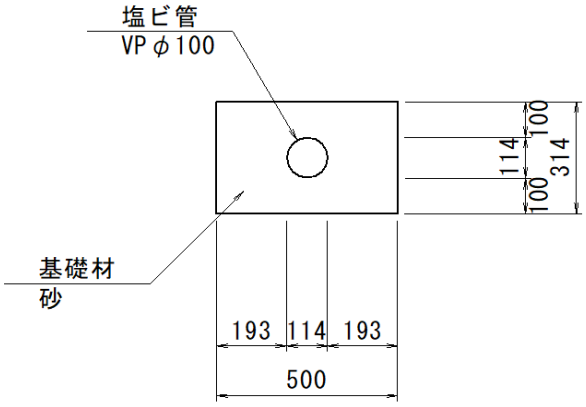
基礎砕石合計	21.494	m2

内訳

算式

B2	×	L	=	S2	m2
0.700	×	10.705	=	7.494	m2
0.700	×	20.000	=	14.000	m2

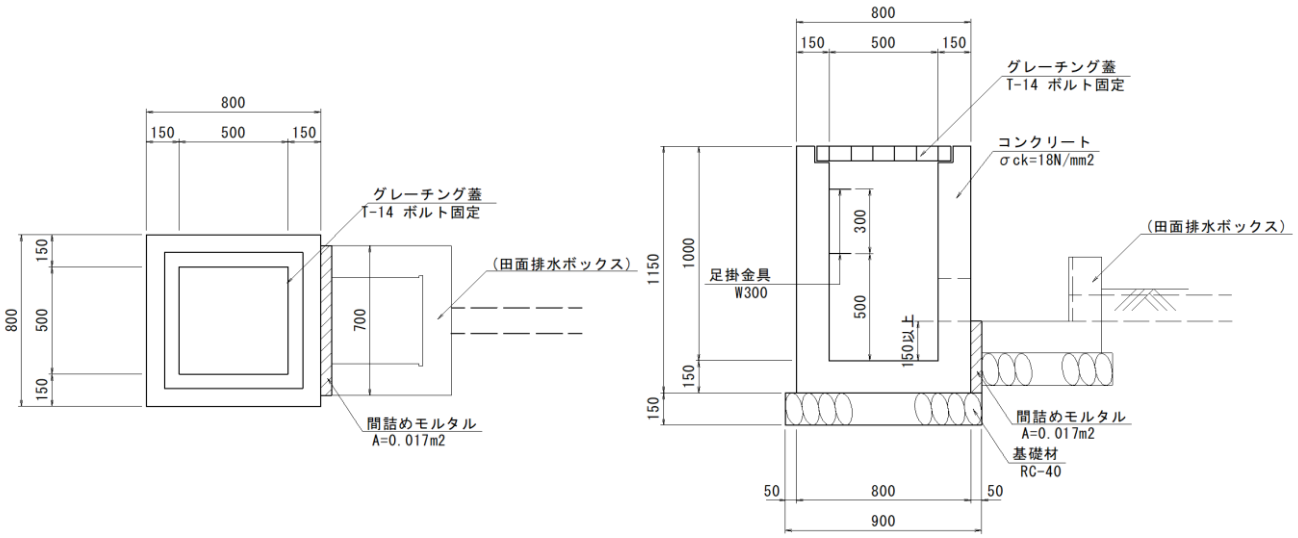
計第　－　表	管渠工　VPφ100	10m当り



全体延長･ヶ所 ＝　　2.1　m

種　別	規　格	計　　算　　式	当り数量	全体数量
塩ビ管	φ100		10.000	2.1 m
砂基礎	砂	(0.500×0.314-1/4π×0.114^2)×10.0	1.468	0.3 m3

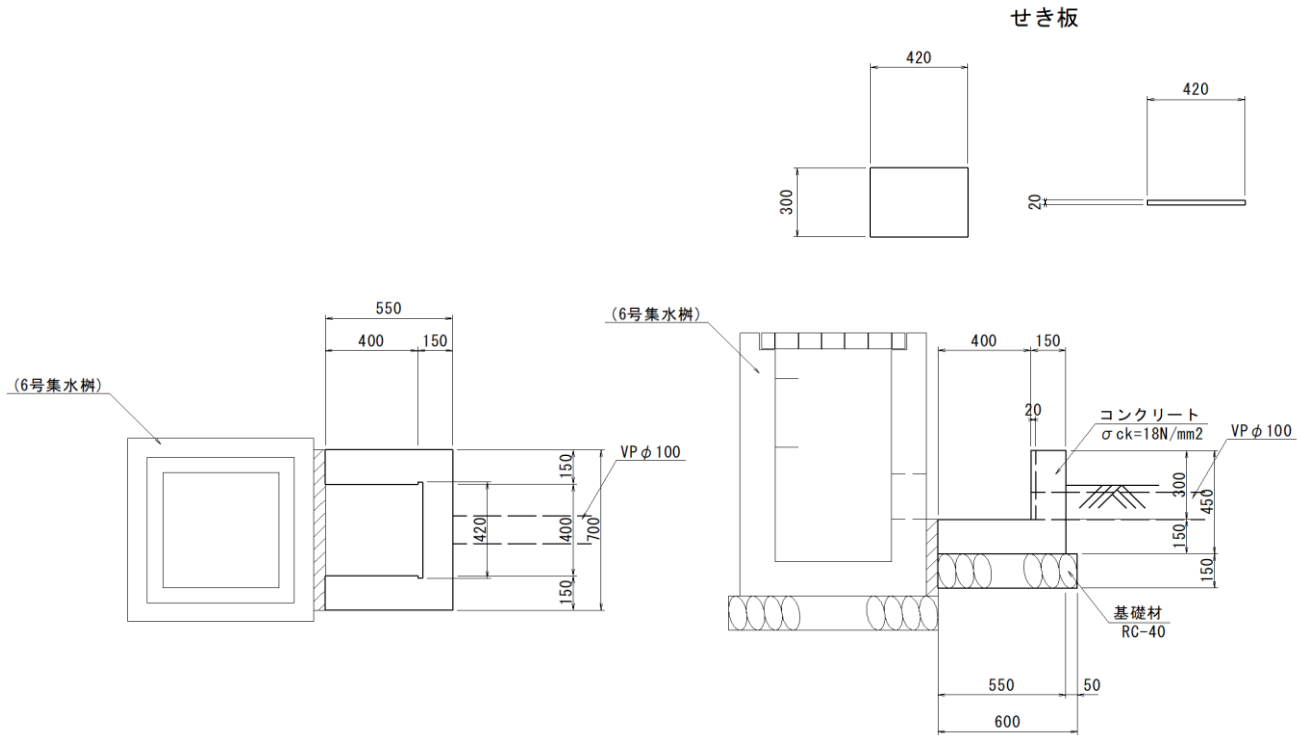
計第　－　表	6号集水桝	1箇所当り



全体延長・ヶ所 ＝　　1.0 箇所

種　別	規　格	計　　算　　式	当り数量	全体数量
コンクリート	σck=18N/mm2	0.800×0.800×1.150－0.500×0.500×1.000		
		－(0.300×0.300×0.15)×2	0.459	0.5 m3
型　枠	一般	(0.800×4＋0.500×4)×1.150	5.980	6.0 m2
基礎材	RC-40、t=150	0.900×0.900	0.810	0.8 m2
グレーチング蓋	T-14 ボルト固定		1.000	1.0 枚
足掛金具	W=300		2.000	2.0 本
間詰めモルタル	1:3	0.017×0.700	0.012	0.01 m3

計第　－　表	田面排水ボックス	1箇所当り



全体延長・ヶ所 ＝　　1.0 箇所

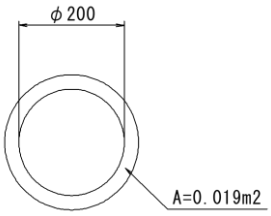
種　別	規　格	計　　算　　式	当り数量	全体数量
コンクリート	σck=18N/mm2	0.700×0.550×0.450－0.400×0.400×0.300		
		－0.420×0.020×0.300	0.123	0.1 m3
型　枠	一般	(0.550×2＋0.700+0.400×3)×0.450	1.350	1.4 m2
基礎材	RC-40、t=150	0.600×0.750	0.450	0.5 m2
せき板	420×300×20		1.000	1.0 枚

構 造 物 撤 去 工 数 量 計 算 書

計第　　表　　**構造物撤去工**　　数　量　集　計　表

名　　称	規　　格	形 状 寸 法	単 位	合　　計	摘　　要
構造物取壊し工					
コンクリート構造物取壊し	無筋構造物		m3	6.9	
	有筋構造物		〃	0.1	
舗装版取壊し	舗装版取壊し	アスファルト舗装版 t=10cm以下	m2	44.8	
	カッター切断	As版、t=15cm以下	m	104.6	
交通安全施設撤去工					
運搬処理工					
	コンクリート殻	無筋	m3	6.9	
	〃	有筋	〃	0.1	
	アスファルト殻		m3	2.2	

撤 去 工　数 量 計 算 書

種　　別	細　　別	算　　式	数　　量
構造物取壊し工			
	コンクリート構造物取壊し（無筋）	・数量計算書より	
		V= =	6.9 m3
		無筋構造物　合 計 =	6.9 m3
	コンクリート構造物取壊し（有筋）	・ヒューム管（φ200）	
			
		L= No.5+18.1～No.6+5.3	
		1.9 + 5.1 = 7.0	
		計 = 7.0	
		V= 0.019×7.0 =	0.1 m3
		有筋構造物　合 計 =	0.1 m3
アスファルト舗装版取壊し			
	t=10cm以下	舗装取壊し数量計算書より	
		車道舗装（t= 5cm） = 44.8	
		合 計 =	44.8 m2
カッター切断	アスファルト舗装版 t=15cm以下		
		L= No. 5+ 6.0 ～ No. 9（右） = 74.0	
		No. 7+10.1 ～ No. 8+17.5（右） = 27.2	
		No. 8+17.5 ～ No. 9（右） = 3.4	
		計 = 104.6	
		合 計 =	104.6 m
運搬処理工	殻運搬処理	コンクリート(無筋)殻	6.9 m3
		コンクリート(有筋)殻	0.1 m3
		アスファルト殻	
		車道舗装（t= 5cm）	
		= 44.8 × 0.05 = 2.2	2.2 m3
		(2.2 × 2.35) = 5.2	5.2 t

計第　　表　　**コンクリート取壊し(無筋)**　　計　算　書

測　点	距　離	無筋構造物　C(Co1)								
		断面積	平　均	立　積		平　均			平　均	
(右　側)										
		0.2	---	----						
No.0+11.0		0.2	---	----						
		0.2	---	----						
		0.1	---	----						
No.2		0.1	---	----						
No.3		0.1	---	----						
No.4		0.1	---	----						
BC1		0.2	---	----						
		0.2	---	----						
		0.1	---	----						
EC2		0.1	---	----						
No.5		0.1	---	----						
		0.1	---	----						
小　計				m3 **0.0**						
		0.1	---	----						
No.6	0.8	0.1	0.10	0.1						
No.7	20.0	0.3	0.20	4.0						
	9.3	0.3	0.30	2.8						
		0.1	---	----						
No.9+10.0		0.1	---	----						
小　計				m3 **6.9**						
合　計				m3 **6.9**						

計第　　表　　**舗装版取壊し**　　計　　算　　書

測　　点	距　離	As舗装版		C(As)						
		幅	平　均	面　　積		平　均			平　均	
		0.5	---	----						
N05＋10	4.0	0.5	0.50	2.0						
	7.4	0.5	0.50	3.7						
		0.3	---	----						
No.6	2.6	0.3	0.30	0.8						
No.7	20.0	0.1	0.20	4.0						
	9.3	0.1	0.10	0.9						
		1.1	---	----						
No.8	10.7	1.1	1.10	11.8						
	19.6	1.1	1.10	21.6						
合　計				m2 44.8						

舗 装 工 数 量 計 算 書

計第　　表　　**舗 装 工**　　数　量　集　計　表

名　　称	規　　格	形 状 寸 法	単 位	合　　計	摘　　要
車道舗装	表　層　工	再生密粒度アスコン t= 5 cm	m2	45.6	
	上層路盤工	再生粒度調整砕石 (RM-30)　t =10 cm	〃	36.5	
	下層路盤工	再生切込砕石 (RC-30)　t=10 cm	〃	45.6	
張コンクリート	コンクリート版	σck=18N/mm2 t=10cm	m2	0.2	

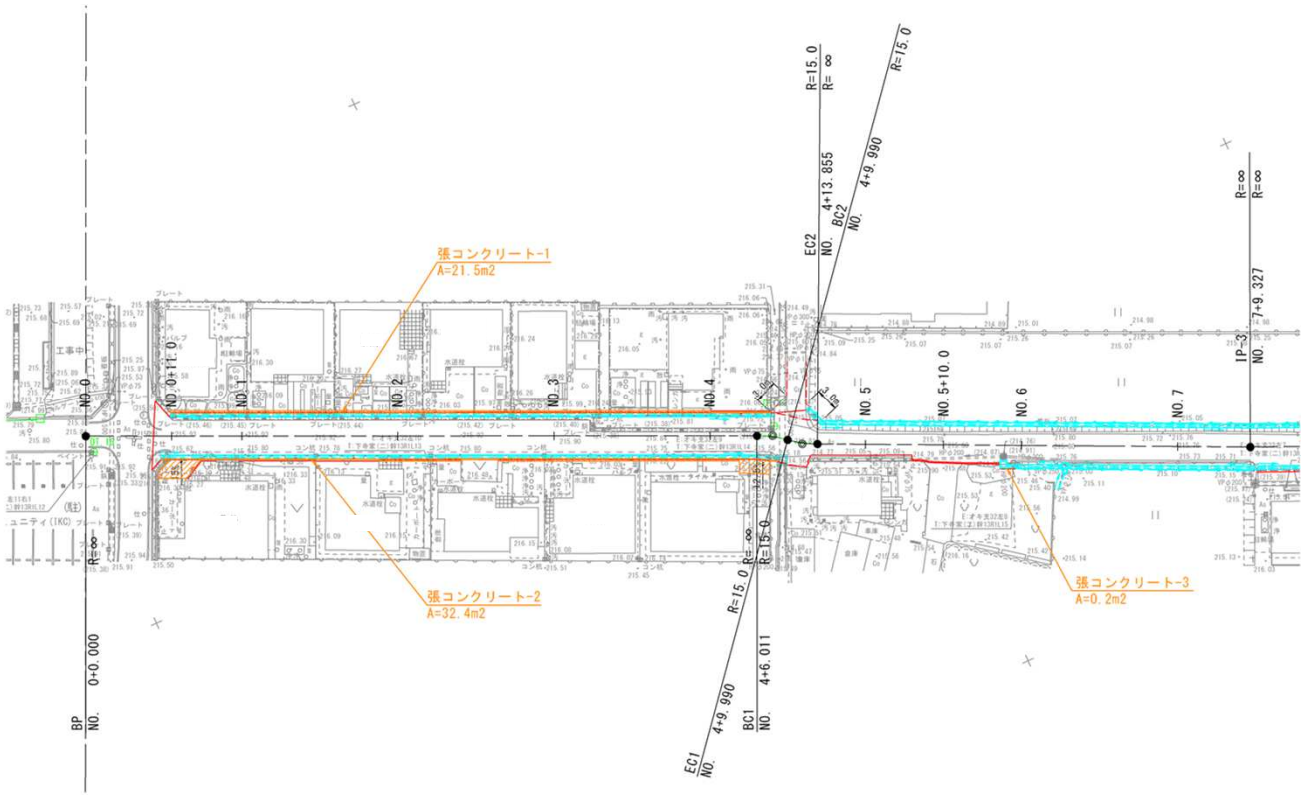
計第　　表　　**車道舗装**　　計　　算　　書

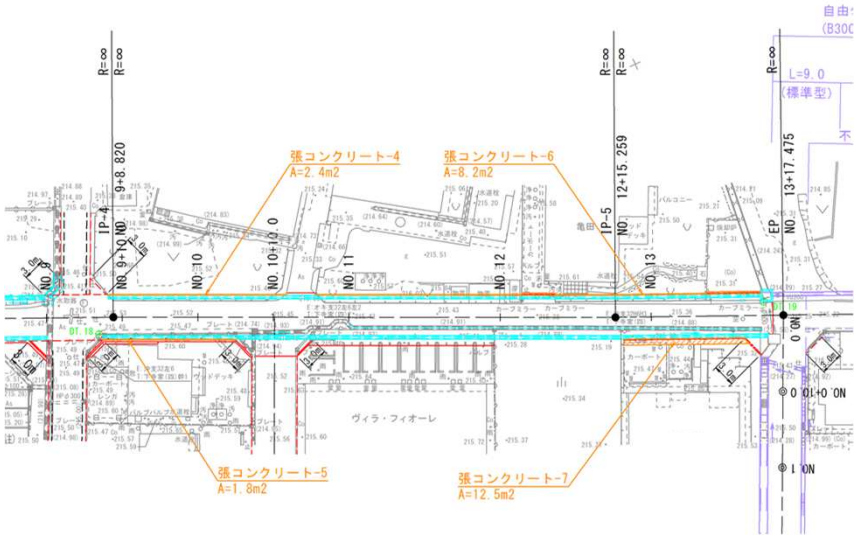
測　　点	距　離	表層工		W1	上層路盤工		W2	下層路盤工		W3
		幅	平　均	面　積	幅	平　均	面　積	幅	平　均	面　積
		0.30	---	----	0.30	---	----	0.30	---	----
NO5＋10	4.0	0.30	0.30	1.2	0.30	0.30	1.2	0.30	0.30	1.2
	7.4	0.30	0.30	2.2	0.30	0.30	2.2	0.30	0.30	2.2
		0.75	---	----	0.75	---	----	0.75	---	----
No.6	2.6	0.75	0.75	2.0	0.75	0.75	2.0	0.75	0.75	2.0
No.7	20.0	0.75	0.75	15.0	0.75	0.75	15.0	0.75	0.75	15.0
	9.3	0.75	0.75	7.0	0.75	0.75	7.0	0.75	0.75	7.0
		0.60	---	----	0.30	---	----	0.60	---	----
No.8	10.7	0.60	0.60	6.4	0.30	0.30	3.2	0.60	0.60	6.4
	19.6	0.60	0.60	11.8	0.30	0.30	5.9	0.60	0.60	11.8
				m2			m2			m2
合　計				45.6			36.5			45.6

計第　　表　　**張コンクリート**　　計　　算　　書

測　　点	距　離	コンクリート版								
		幅	平　均	面　　積		平　均			平　均	
根拠図-1										
根拠図-2										
根拠図-3				0.2						
根拠図-4										
根拠図-5										
根拠図-6										
根拠図-7										

計第　　表　　張コンクリート　　根　　拠　　図





縁 石 工 数 量 計 算 書

計第　　表　　**縁 石 工**　　数　量　集　計　表

名　　称	規　　格	形 状 寸 法	単 位	合　　計	摘　　要
作業土工					
床　掘	砂質土	E(SF)	m3	1.1	
埋　戻	埋戻種別：C	Fu(D)	m3	1.1	
縁石工					
地先境界ブロック	150×150×600		m	14.4	

計第　　表　　**縁石工－作業土工（１）**　　計　　算　　書

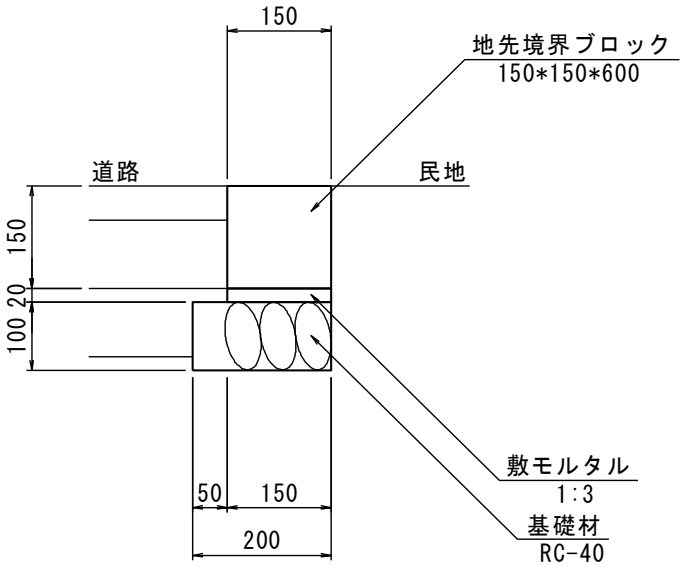
測　　点	距　離	床　掘（砂質土）　E(SF)			埋　戻　　Fu(D)					
		断面積	平　均	立　　積	断面積	平　均	立　　積	断面積	平　均	立　　積
右　側										
		0.1	---	----	0.1	---	----			
No.5＋10	4.0	0.1	0.10	0.4	0.1	0.10	0.4			
	7.4	0.1	0.10	0.7	0.1	0.10	0.7			
右側 計				m3 1.1			m3 1.1			m3 0.0
左右総合計				m3 1.1			m3 1.1			m3 0.0

計第　　表　　地先境界ブロック

延　長　調　書

左　側			右　側		
測　点	延　長 (ヶ所)	摘　要	測　点	延　長 (ヶ所)	摘　要
			No.5+6.0　～　No.5+10.0	4.0	
			No.5+10.0　～　No.5+17.4	7.4	
			No.8+17.0　～　No.9	3.0	
			No.10+13.1　～　No.10+15.4		
			No.13+12.3　～　No.13+14.4		
左 側 計	m 0.0		右 側 計	m 14.4	
左右合計	m 14.4				

計第　－　表	地先境界ブロック	10m当り



全体延長･ヶ所 ＝　　14.4　m

種 別	規 格	計　　算　　式	当り数量	全体数量	
地先境界ブロック	150×150×600		10.000	14.4	m
敷モルタル	1:3	0.15×0.02×10.0	0.030	0.04	m3
基礎材	RC-40 t=100	0.20×10.0	2.000	2.9	m2